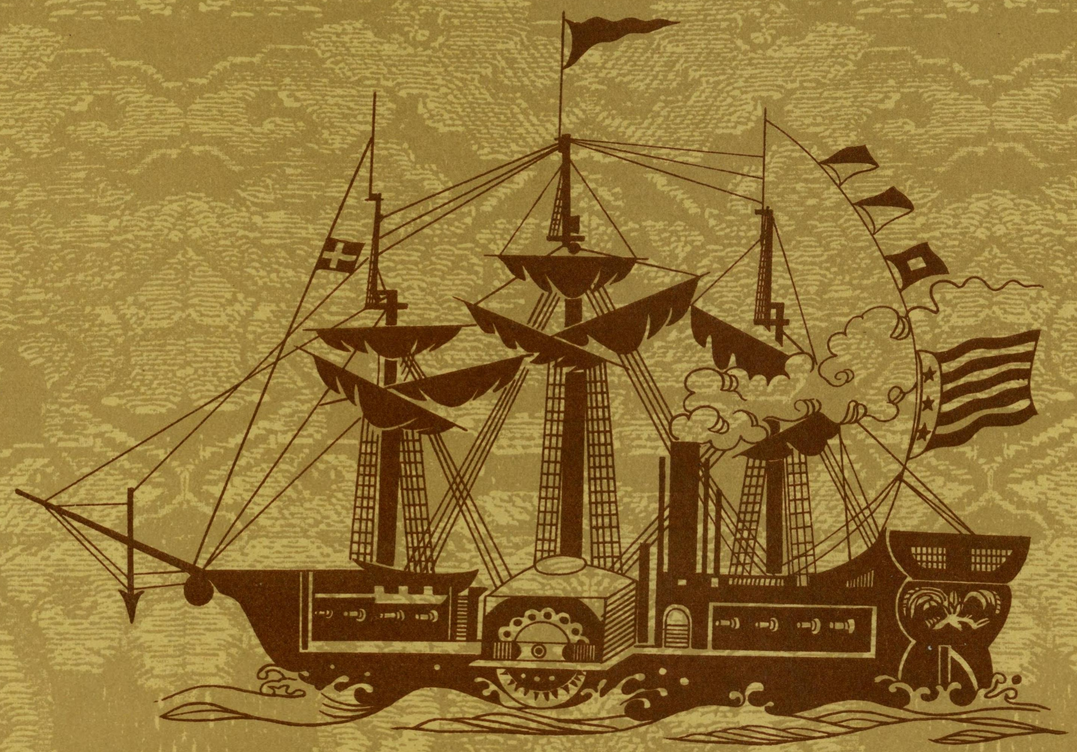
幕末・明治・大正

回顧八十年史



第十六輯

東京・東洋文化協會・發行

◎口繪解說◎

◎『奥羽地方陸軍特別大演習御統監の大正天皇御寫眞』

陸地測量部謹寫

大正四年十月十八日大正天皇には奥羽地方特別大演習御統監の爲東京御發輦あり、御卽位式御準備其他にて御多忙に渉らせ給ふ中に、聖駕を親しく奥羽の僻地に進めさせ給ひて寒風を冒して連日國軍を御統監あらせ給ひ、同二十日龍顏麗はしく御還幸になつたが、本御寫眞は青森縣石江の御野立所に於ける陛下を拜寫したものである。

『明治初年の紙幣』（縮寫）

明治維新の成るや政府は明治元年より五年に亙つて太政官札、民部省札、大藏省兌換證券等巨額の政府紙幣を發行したが遂には其の多種なる紙幣の整理に苦んだ結果、米國の例に倣つて國立銀行を設立して紙幣を發行せしめた。而して三井組、小野組の人々が明治五年六月國立銀行設立の願書を大藏省に提出し同年八月十七日許可を得て設立したのが第一國立銀行である。

本寫眞は第十五國立銀行發行のもので米國のドル紙幣印刷機械を輸入して印刷した横札である。表面の右には新田義貞、左には兒島高德を表はして居る。第二十七國立銀行發行のものは表面には鍛冶屋、裏には惠美須を表はして居る。

幕末 明治 大正 回顧八十年史 第十六輯 目次

口繪（原色版）

『奥羽地方陸軍特別大演習御統監の大正天皇御寫眞』……
『明治初年の紙幣』……

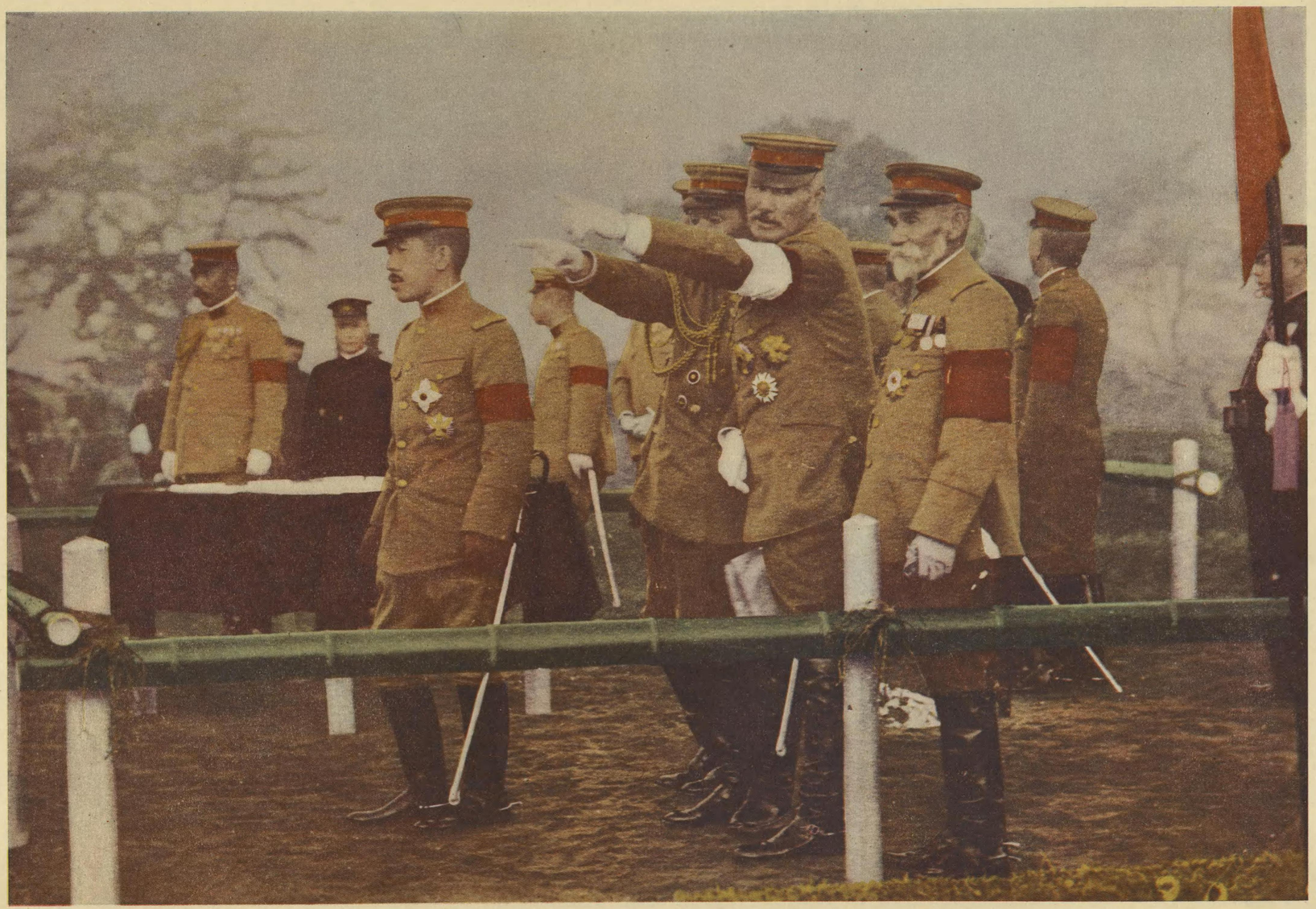
玻璃版

大正天皇・皇太后陛下……
大正天皇御尊影、皇太后陛下御尊影、大正天皇御宸筆、皇太后陛下御宸筆、二重橋全景。
桂内閣と憲政擁護運動……三九〇
大正二年二月七日帝國ホテルに於ける桂公の新政黨同志會々員招待會、尾崎行雄、犬養毅、暴徒の爲に破壞されたる萬世橋交番、國民新聞社より暴徒防禦のポンプ放水、野黨議員に歡呼する群集、都新聞社前の群衆と警官及び憲兵の警戒。
飛行界最初の犧牲者木村、徳田兩中尉……三九一
木村中尉、徳田中尉、大正二年三月二十八日青山練兵場より所澤に歸還せんとする徳田、木村兩中尉のプレリオ機、墜落當日收容されたる兩中尉の軍服及び附屬品、大正二年四月四日兩中尉の葬儀、大正三年三月二十八日遭難地點松井村字柿ノ木臺に建設せられし兩中尉記念碑除幕式と兩中尉遺族。
加州排日法案の米議會通過……三九二
大正二年四月十八日大隈伯邸に於ける內外宣教師四十餘名を招待して排日案緩和の相談、大正二年四月十七日兩國々技館に於ける立憲青年黨主催の國民大會、大正二年四月二十一日築地精養軒に於ける日米同志會懇談會、澁澤會長の演說五月二日米同志會より慰問使として渡來せる江原素六、服部綾雄兩氏。
民間飛行界最初の犧牲者武石浩波……三九三
武石浩波氏と鳴尾競馬場出發前の武石氏、連絡飛行を終り正に京都深草練兵場に着陸せんとする刹那、五月四日午後零時五十分墜落の瞬間、死體の引出し、武石氏の遺品。
有栖川宮威仁親王の國葬（一）……三九四
有栖川宮威仁親王、有栖川宮威仁親王の御遺骸、靈柩砲車陸軍省前通過、御葬儀場の各皇族殿下。
有栖川宮威仁親王の國葬（二）……三九五
葬場殿內に於ける各宮殿下、豐島岡に於ける御埋棺式、豐島岡葬儀場及び幄舍、護國寺前の雜閙。
對支問題・阿部局長の遭難……三九六
大正二年九月五日夜遭難六日卒去したる外務省政務局長阿部守太郎氏一家、大正二年九月七日日比谷公園に於ける國民大會當日外務省に押寄せたる群集、割腹したる暗殺者岡田滿、捕縛されたる共犯者宮本千代吉、大正二年九月十六日張勳の正式謝罪。
藝術座と近代劇協會……三九七
近代劇協會創立者上山草人と協會員全員、藝術座員の園遊會と松井須磨子のカチューシヤ。
第一次天長節祝日奉祝……三九八
青山練兵場に於ける觀兵式、總理大臣邸に於ける奉祝夜會場、宮城前の東京市奉祝門、東京市の奉祝花電車『御所車』、東京市の奉祝電車『君ケ代』。
桂公の逝去と立憲同志會結黨式……三九九
桂公の一家、桂公の葬儀、立憲同志會結黨式。

櫻島の大爆發……三〇〇
大爆發中の櫻島、海中に流入せる熔岩、鹿兒市に避難し來れる櫻島々民、降灰の爲に埋沒せる櫻島の人家、鹿兒島市中の降灰、鹿兒島海岸通の慘狀。
シーメンス事件……四〇一
山本總理大臣、元兇ブーレー、澤崎寬猛、藤井光五郎、松本和、議會附近の群集制御の警官、大正二年二月十日日比谷公園松本樓に開かれたる國民大會と島田三郎、二月三日神田青年會館に於ける豫備海軍大佐太田三次郎の攻擊演說、二月六日兩國々技館に於ける片桐豫備海軍主計大監の攻擊演說。
秋田縣下の大地震……四〇一
仙北郡强首村の慘狀、仙北郡刈和野村附近鐵道線路破壞、仙北郡神宮村の慘狀。
大正博覽會(一)……四〇三
大正博覽會開會式、第一會場正門前の雜閙
大正博覽會(二)……四〇五
不忍池畔第二會場の鳥瞰寫眞、竹之臺敎育及び學藝館と水族館、皇后陛下の行啓、上野山下の博覽會入口。
大正博覽會(三)……四〇五
第三會場(青山)に於ける軍艦三笠の模型、博覽會平面圖、第二會場の夜景、不忍の池橫斷の遊覽ケーブル・カー。
昭憲皇太后の崩御……四〇六
昭憲皇太后御尊影、代々木練兵場に於ける御大葬場全景、大正三年五月二十四日午後八時半御靈轜代々木葬場殿に着御の有樣、東京市民の奉悼。
昭憲皇太后の御遺品……四〇七
御愛玩の御人形、御愛玩の五人人形、御玩具、御茶碗と糸巻、御靈柩列車加茂川鐵橋通御と市民の奉送、御胴衣塚。
臺灣理蕃事業最後の討伐……四〇八
討伐隊と兇蠻との媾和、歸順蕃人、大正三年七月合歡山ルツビ合流點よりカラパオに至る困難なる討伐隊の輸送。
東京驛の開通式……四〇九
竣工せる東京驛全景、東京驛及び東京中央郵便局間の地下電車、開通式祝賀會、開通式々場內大隈伯の祝賀演說。
日光東照宮三百年祭(一)……四一〇
日光東照宮三百年祭德川家一門の參拜、天狗獅子、田樂法師。
日光東照宮三百年祭(二)……四一一
大名行列、騎馬武士、大名駕籠、武者行列。
桑港萬國大博覽會(一)……四一二
桑港大博覽會の全景、大博覽會の夜景、園藝館の全景。
桑港萬國大博覽會(二)……四一三
桑港萬國大博覽會の全景、日本部出品の金閣寺と日本式庭園。
大正初年の博覽會と朝鮮物產共進會……四一四
明治記念博覽會、江戶記念博覽會、海事水產博覽會、朝鮮始政五周年記念物產共進會開會式、共進會參考館、音樂堂、第二號館。

記事

大正元年
大正最初の陸軍大演習……勤王家其他の贈位追陞……大正劈頭の政變。
大正二年
憲政擁護運動・護憲の神……第二の燒打・桂內閣瓦解・山本內閣出現……神田の大火……航空界最初の犧牲……米國加州の排日問題……良間飛行家最初の犧牲……阿部政務局長暗殺さる……滿蒙に於ける五鐵道敷設權獲得……大正第一次の天長祝節……宮皇御服制の公布……近代劇協會の創興……立憲同志會の結黨式。
大正三年
櫻島の大爆發……大正博覽會開かる……シーメンス事件……昭憲皇太后崩御……臺灣理蕃事業の終了。



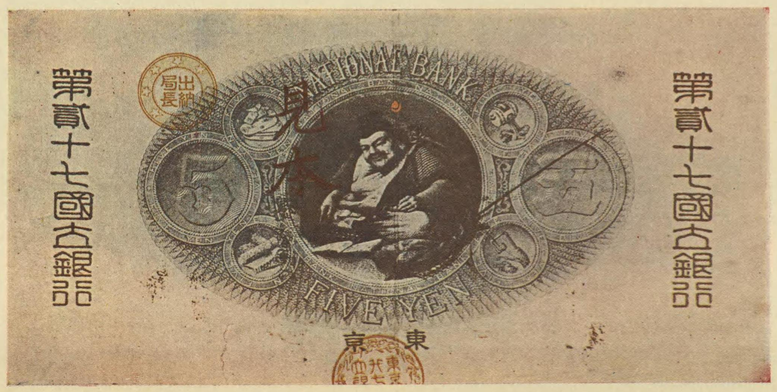
奥羽地方陸軍特別大演習御統監の大正天皇御寫眞

大正四年十月奥羽地方に於ける陸軍特別大演習には大正天皇は御統監の爲同月十八日御發輦遊ばされたれが本寫眞は青森縣石江御野立所に於いて御統監中の陛下を拜寫したものである

第十五國立銀行發行貳圓紙幣の表（縮寫）
人物は右方が新田義貞　左方が兒島高徳で米國式の横札である

第十五國立銀行貳圓紙幣の裏（縮寫）

明治十年第二十七國立銀行五圓紙幣の裏（縮寫）



明治十年第二十七國立銀行發行五圓紙幣の表（縮寫）
印刷の巧妙此種紙幣中の白眉として當時賞讃を博したものである

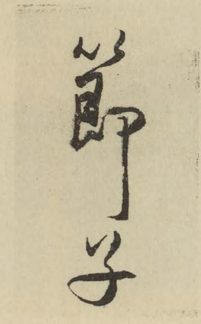
明治初年の紙幣（縮寫）

明治維新の成るや政府は明治元年より五年に亘つて太政官札　民部省札　大藏省兌換證券等巨額の政府紙幣を發して遂に其整理に苦しみ米國の例に倣つて國立銀行を設立して發行せしめたものである。三井組　小野組の人々が明治五年六月國立銀行設立の願書を大藏省に提出し同年八月十七日可許を得て設立したのが第一國立銀行であつたのである。

大正天皇御尊影

大正天皇御筆

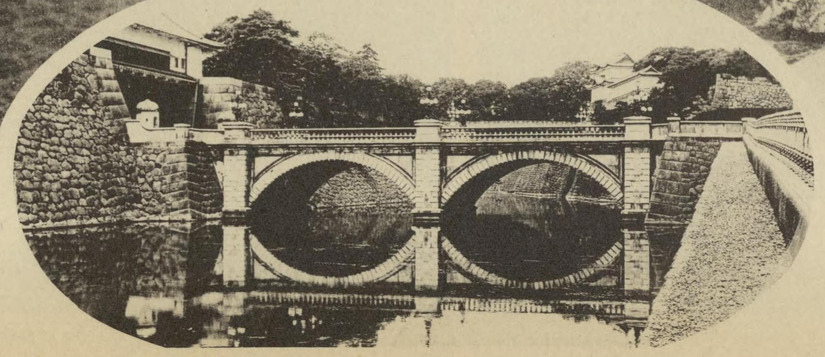
嘉仁



皇太后陛下御筆

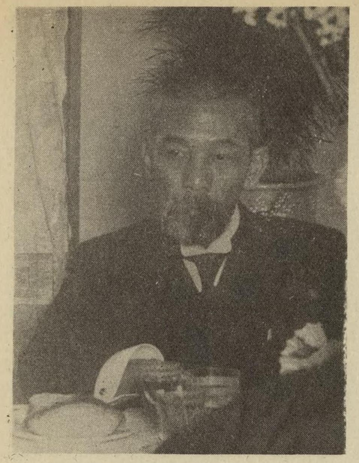
節子

皇太后陛下御尊影

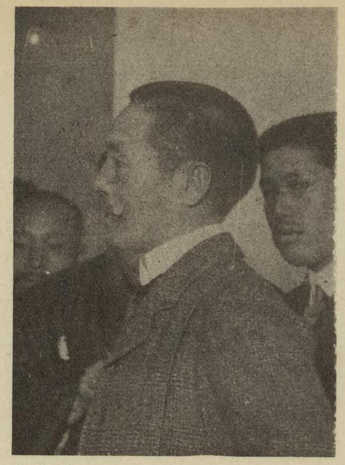


二重橋全景

桂内閣と憲政擁護運動



犬養毅



尾崎行雄

大正二年二月七日帝國ホテルに於ける桂公の新政黨同志會々員招待會。右端が桂公

國民新聞社より暴徒防禦のポンプ放水

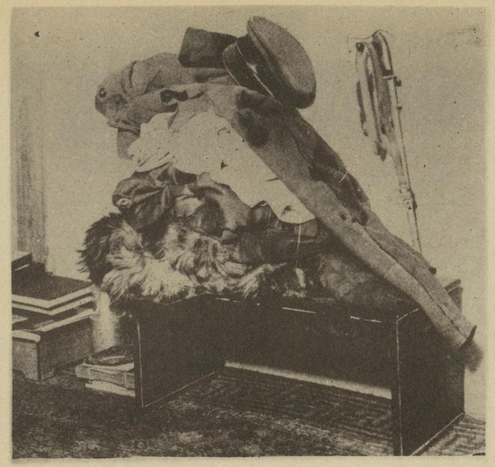
暴徒の爲に破壞されたる萬世橋交番

二月十日議會停會前の日比谷都新聞社前の群集と警官及び憲兵の警戒

議會に向ふ野黨議員に歡呼する群集

大正二年二月の政變は所謂大正政變であつて桂公が西園寺内閣の後を受けて内大臣を辭して新政黨同志會を組織し桂内閣を作つたのであるが、閥族内閣或は特權内閣に飽いた國民は茲に憲政擁護運動を起し國民黨の犬養、（河野、島田、武富、箕浦諸氏は桂公の傘下に走せた）尾崎兩氏を急先鋒として政友會と共に連日桂内閣を攻撃して遂に倒してしまつた。二月二十日の議會は大混亂の中に停會となり外は群集と警官隊と衝突し暴徒は御用紙の國民、都、中外、やまと四社を襲撃し又國民社員の爲にピストルで殺されたものもあり、下谷警察署及び交番は燒打される樣な騷であつた。

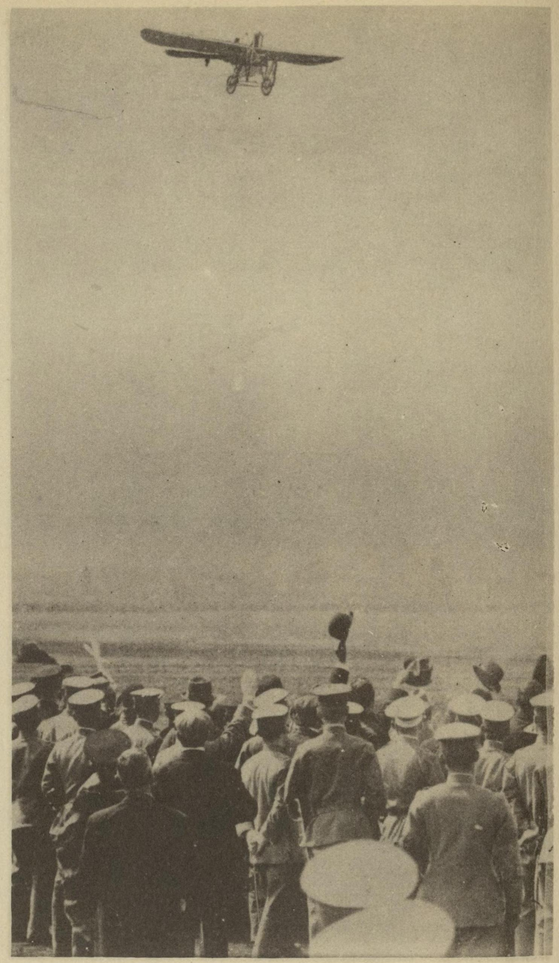
飛行界最初の犠牲者木村・徳田兩中尉



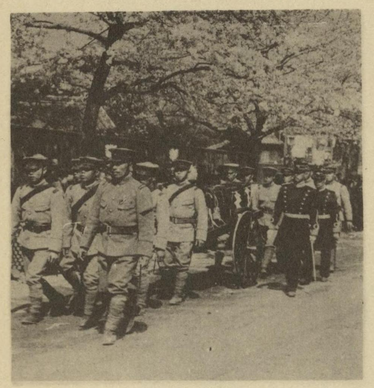
墜落當日收容されたる兩中尉の軍服及び附屬品

木村中尉

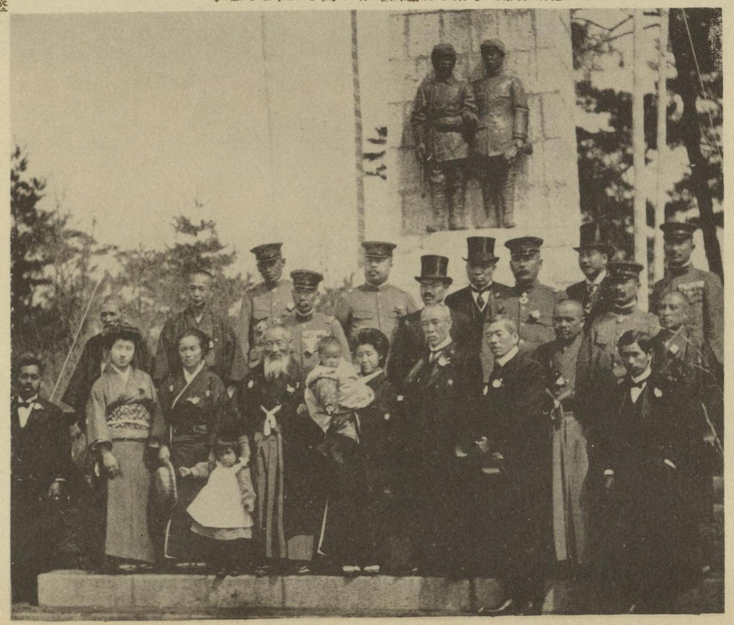
徳田中尉



（上）大正二年三月廿八日青山練兵場より所澤に歸還せんとする徳田木村兩中尉のプレリオ機



大正二年四月四日兩中尉の葬儀
赤坂見附通行中の靈柩



（下）大正三年三月二十八日遭難地點松井村字柿の木臺に建設せられし兩中尉記念塔除幕式と兩中尉遺族。塔の高さ三十七尺七寸

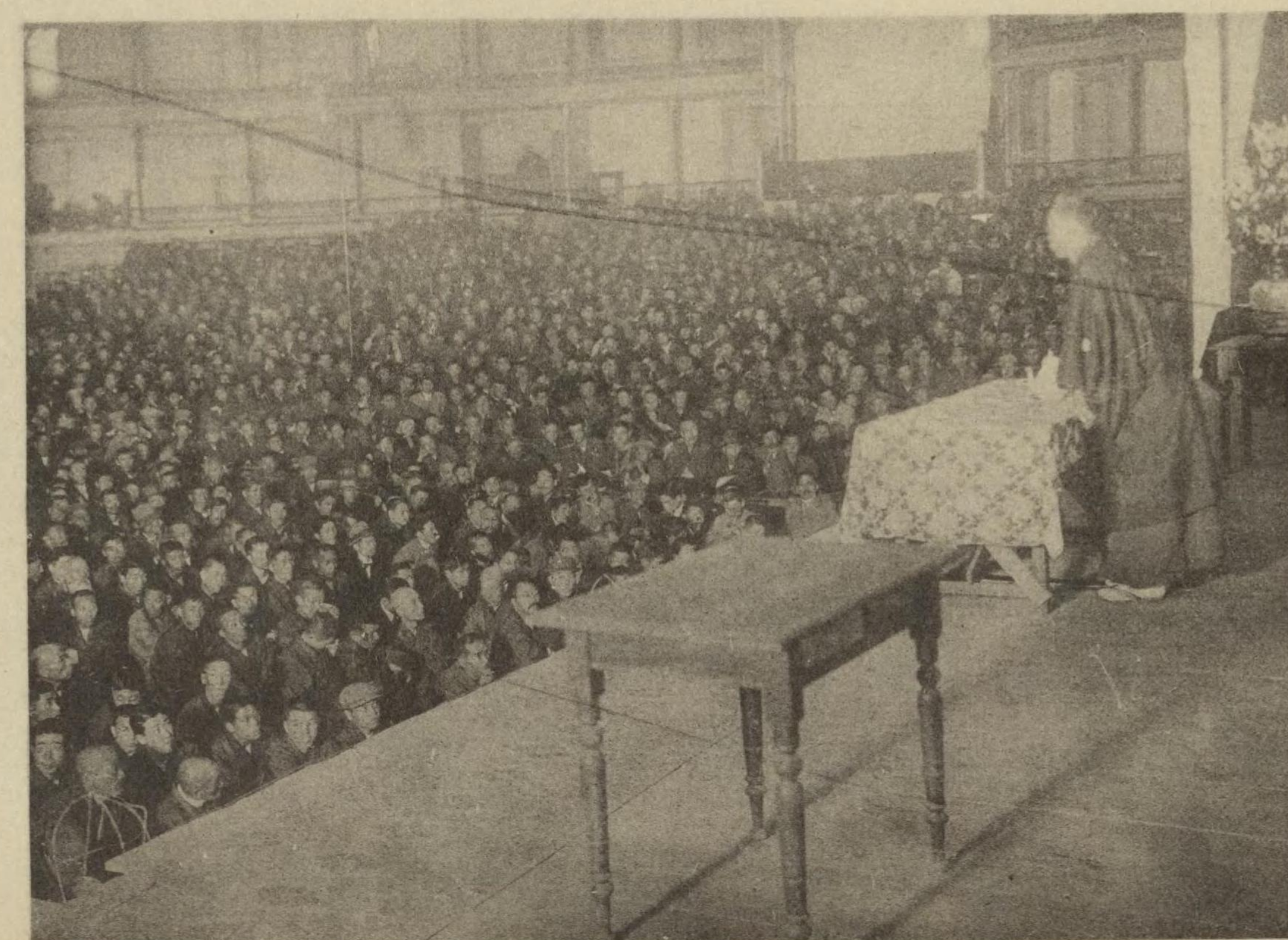
大正二年三月二十八日青山練兵場に於いて催されたる飛行展覽會に參加して妙技を演じたる歩兵中尉徳田金一郎、同木村鈴四郎兩氏はプレリオ式飛行機に同乘して青山より所澤に歸途についたが所澤の東方半哩ばかりなる松井村字柿の木臺に於いて突然三百米の高空より墜落して慘死した。是れ實に日本飛行界最初の犠牲者であつた。越えて四月四日青山齋場にて盛大なる葬儀があつた。翌三年三月二十八日記念碑が遭難地點に建てられ、徳田中尉の遺兒長女よし子の手によつて除幕された。高さ三十七尺七寸。正面に徑二尺の飛行徽章あり下に兩中尉の像がある。

加州排日法案の米議會通過

五月二日日米同志會より慰問使として渡米せる江原素六(左)服部綾雄氏(中)(築地精養軒送別會にて)

大正二年四月十八日大隈伯邸に於ける内外宣教師四十餘名を招待して排日案緩和の相談

大正二年四月二十一日築地精養軒に於ける日米同志懇談會澁澤會長の演說(下左)



大正二年四月十七日兩國々技館に於ける立憲青年黨主催の國民大會(下右)

大正二年春。米國加州議會に、カリフォルニヤ州土地所有案即ち米國市民たるを得ざる外人の土地所有を禁ずる法案提出され、在留邦人の多年の努力一朝にして無爲となる案なるが爲に輿論大に起り、大隈伯は四月十八日内外宣教師を招いて緩和を計り、珍田大使又嚴重に抗議し輿論囂々として其非を鳴らしたが國務卿ブライアン氏のサクラメント視察に赴いた四月二十九日に此法案は加州議會を通過した。是實に大正年間に於ける排日案の最初であつた。

民間飛行界最初の犠牲者武石浩波

武石浩波氏（圓形内）と鳴尾競馬場出發前の武石氏（上右）

大正二年五月四日大阪朝日新聞社主催京都大阪都市連絡飛行の歸途大阪高等工業學校生徒の歡聲に送られつゝある武石氏。實に墜落三時間前の最後の寫眞である。

右、武石氏の遺品

上、死體引出し

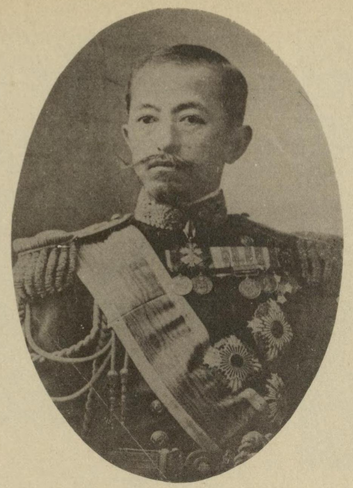
連絡飛行を終り時に京都深草練兵場に着陸せんとする刹那

五月四日午後零時十分墜落の瞬間

米國カーチス飛行學校卒業の武石浩波氏は愛機を携へて日本に歸り大阪朝日新聞社の主催による京都大阪鳴尾の都市連絡飛行を行ひて大正二年五月四日京都深草練兵場より大阪鳴尾に飛來し其歸途同日午後零時五十分時に大成功裡に深草練兵場に着陸せんとする瞬間發動機の故障によつて墜落して惨死した。是實に民間飛行界最初の尊き犠牲者であつた。世間の同情蕭然として集り數萬圓の弔慰金が贈られたが遺族の提供によつて武石浩波賞金を設け民間飛行界の發達に資する事になつた。

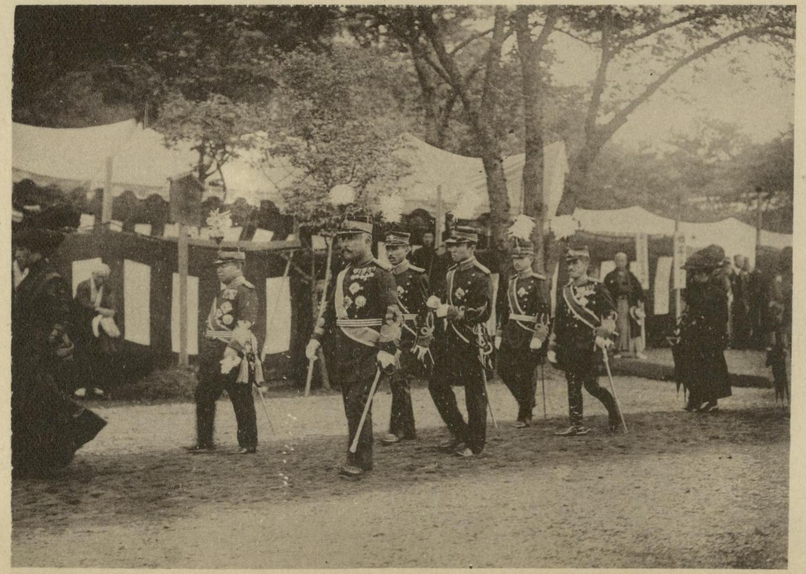
有栖川宮威仁親王の國葬（一）

有栖川宮威仁親王の御遺筆



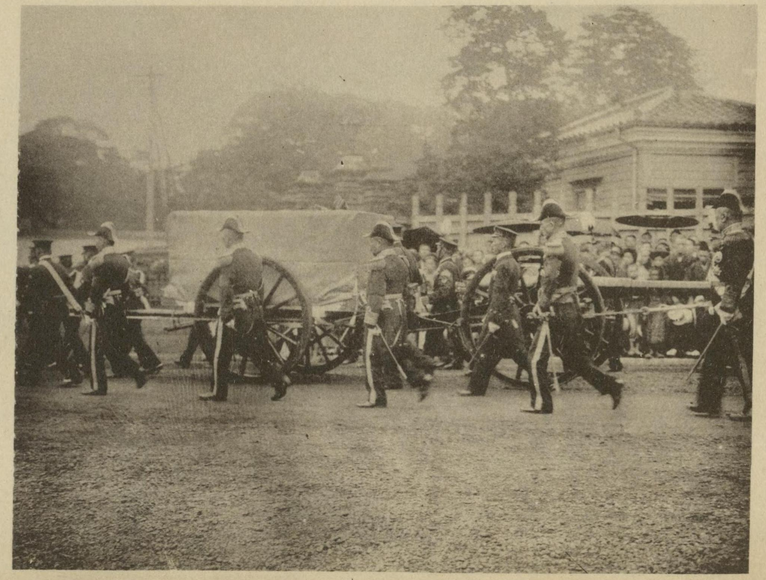
有栖川宮威仁親王

沼津驛通過の御遺骸



御葬儀場の各皇族殿下

左より。久邇宮妃、久邇宮、梨本宮、朝香宮、東久邇宮、北白川宮、竹田宮、竹田宮妃殿下。



靈柩砲車陸軍省前通過

元帥海軍大將大勳位有栖川威仁親王は久しく須磨の御別邸に御療養中であつたが大正三年七月十日遂に薨去遊ばされた爲、十一日より三日間廢朝を仰出され、御遺骸は直ちに特設の有栖川宮別邸前驛を發して東京に還へらせ給つた。十五日勅使宮邸に參向して誄詞及び賻賜を賜ひ、十七日國葬を以つて小石川區坂下町豐島岡に埋葬し奉つた。

有栖川宮威仁親王の國葬（二）

左、葬場殿内に於ける各宮殿下

向つて右より、有栖川宮妃（黒服）同大妃、前田侯夫人（黒服）德川公世堂（實枝子姫）伏見宮貞愛親王、伏見宮、博恭王殿下

右、護國寺前の參列者の雜閙

上、豐島岡に於ける御埋棺式

左、豐島岡葬場及び幄舍

威仁親王は早くより海軍に入らせ給ひ英艦アイアン・ヂユーク號に御乘艦親しく海軍士官としての嚴格なる御教育を受けさせ給うたが、或日同艦を訪問せる我將校が石炭庫附近の哨兵として立番し居らるゝを拜して恐懼禁ずる能はず感涙に咽んだと云ふ。大正天皇の御輔導として又海軍の元勳として非常に皇室及び國家の爲に盡されたのであつた。

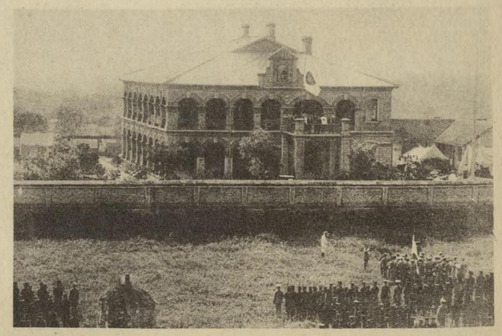
對支問題・阿部局長の遭難

大正二年九月五日夜遭難六日卒去したる
外務省政務局長阿部守太郎氏一家

大正二年九月七日、日比谷公園に於ける國民大會當日外務省に押寄せたる群集

捕縛されたる共犯者宮本千吉

斃旗したる暗殺者岡田福



即謝式正の勤執日六月十年二正大

大正二年九月一日支那北軍は本邦人を慘殺し豎二日又北軍兵邦人を慘殺したり。爲に國論囂々として起り九月七日國民大會を日比谷公園に開催し外務省の軟弱外交を攻撃したり。然るに五日の夜岡田福及び共犯者宮本千吉なる二青年時局を憤慨し外交の軟弱を責めて外務省通商局長阿部守太郎氏を暗殺し岡田は斃旗し宮本は捕縛せられたり。十一日又惱本騰繁は外務省内にて斃旗したり。斯くして輿論沸騰して外務省を襲撃し遂に九月十六日支那政府の正式謝即によつて此事件は納まつたり。

藝術座と近代劇協會

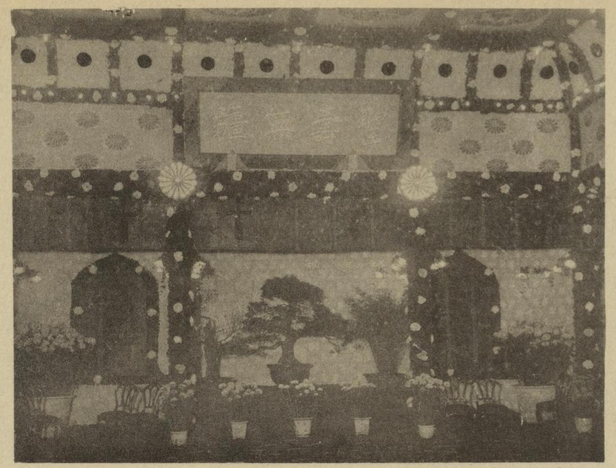
近代劇協會創立者
上山草人（圓形内）と
協會員全員（上左）
大正二年第一回上演「ヘツダ・ガブラー」
出演記念。
衣川孔雀（右端）、上山浦路（中央）、
草人、伊庭孝の諸氏

藝術座員の園遊會（下右）と
松井須磨子のカチューシャ（下左）

大正二年十月六日、東京目黒なるエビスビール會社庭園内の園遊會で、ロシヤ帽を被むるは小山内薫、其右二人目は島村抱月、其他松井須磨子及び澤田正二郎も見えて居る。カチューシャは藝術座第三回公演で『カチューシャ可愛いや別れの辛さ』の歌と共に松井須磨子は一躍有名になつてしまつた。

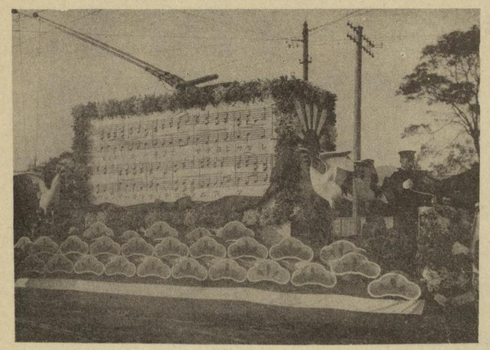
近代劇協會は大正二年に上山草人　同浦路、伊庭孝及び衣川孔雀等によつて創立され帝劇に於いて『フアースト』を演じて非常なセンセイシヨンを起したが大正六七年頃には解散してしまつた。藝術座は文藝協會から分裂したもので島村抱月氏が大學教授の職を辭して松井須磨子と共に大正二年に旗上げをしたものである。第三回「上演の『復活』に松井須磨子の扮したカチユーシヤと其歌によつて松井須磨子は一躍有名となりカチユーシヤの歌は日本全國を風靡したが、八年一月抱月の死についで須磨子の自殺によつて藝術座も潰れてしまつた

第一次天長節祝日奉祝

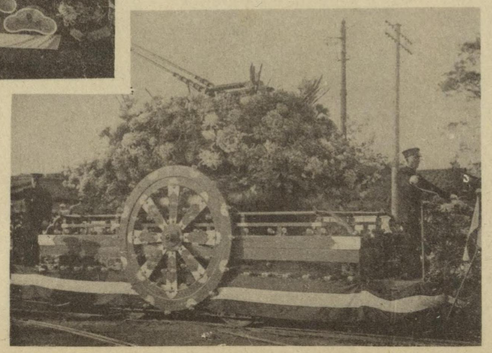


總理大臣邸に於ける奉祝夜會場

青山觀兵場に於ける觀兵式
左端が大正天皇（大正二年十月三十一日）



上、東京市の奉祝花電車『君ヶ代』



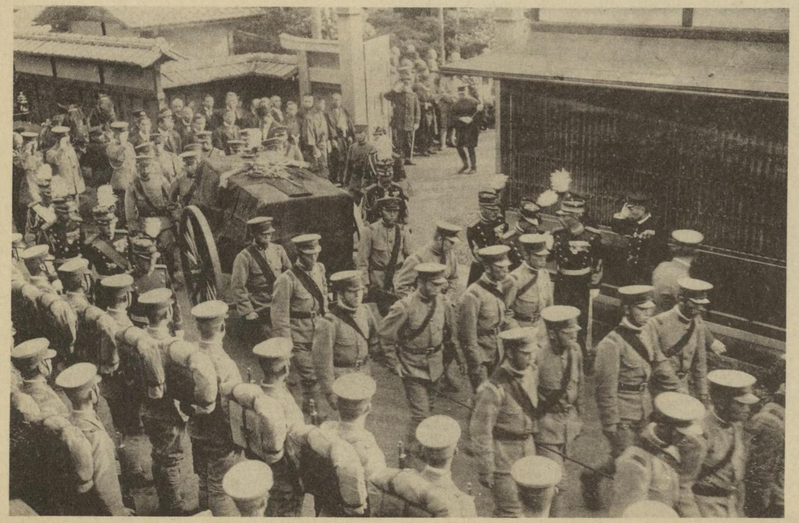
右、東京市の奉祝花電車『御所車』

右、宮城前の東京市奉祝門

大正二年十月三十一日大正天皇第一次天長節祝日を行はせらる。天皇の御降誕は八月三十一日であるが二年七月十八日告示を以つて八月三十一日には天長節祭のみを行はせ給ひ。十月三十一日を以つて祝日と定められたのである。此日天皇は青山の大觀兵式に親幸あり又豐明殿に群臣をば召されて酒饌を賜つたが、諒闇明けの第一次天長節祝日とて全國を擧げて奉祝し、天皇の千秋萬歳を壽ぎ奉つた。

桂公の逝去と立憲同志會結黨式

上、桂公の一家、公の向つて右はかな子夫人。
下、桂公の葬儀、靈柩三田の本邸を出棺(大正二年十月十九日)



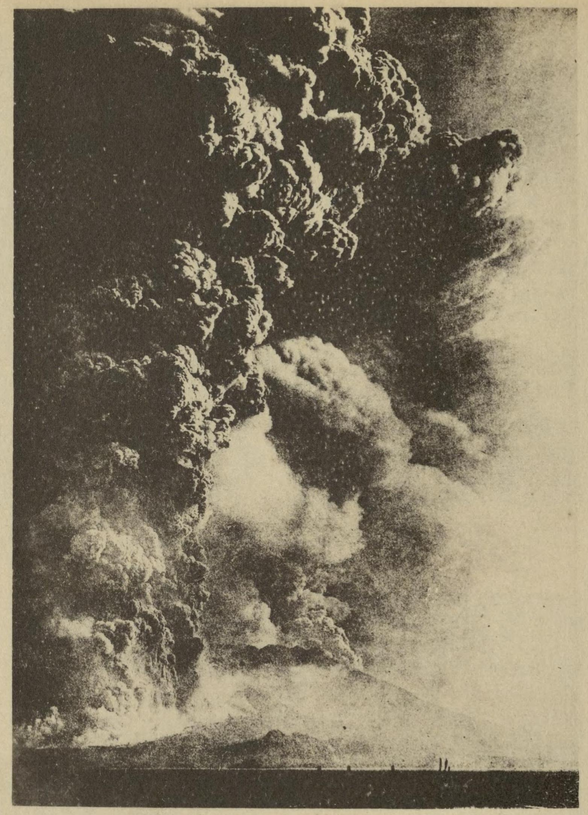
立憲同志會結黨式。
大正二年十二月廿三日午後二時築地精養軒に於ける結黨式で總裁加藤高明の演說
右端は座長河野廣中である。

桂公は西園寺内閣の跡を受けて大正二年一月第三次桂内閣を組織し次いで新黨を組織したが同年四月病を得、新政黨の結黨式を擧ぐるに至らずして十月十日午後十一時三十分逝去したので男爵加藤高明を總理とし、大浦兼武、大石正巳、河野廣中の三氏を總務として同年十二月廿三日築地精養軒に結黨式を擧げた。

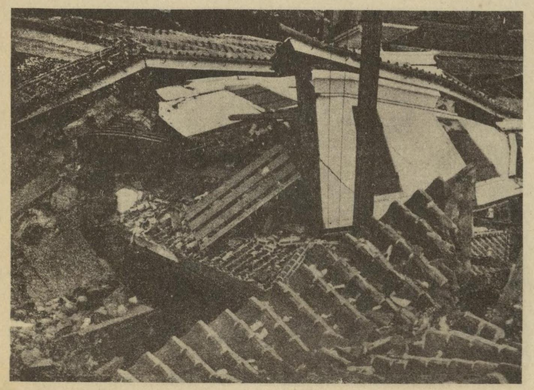
櫻島の大爆發

下、鹿兒島市に避難し來れる櫻島々民

右、降灰の爲に埋沒せる櫻島の人家

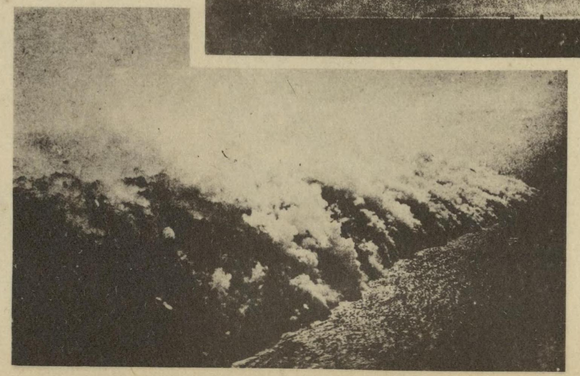


大爆發中の櫻島（上）
噴煙の高さ二萬五千尺



鹿兒島海岸通の慘狀
地震の爲に破壞

鹿兒島市中の降灰
顔を包み傘をさして通行



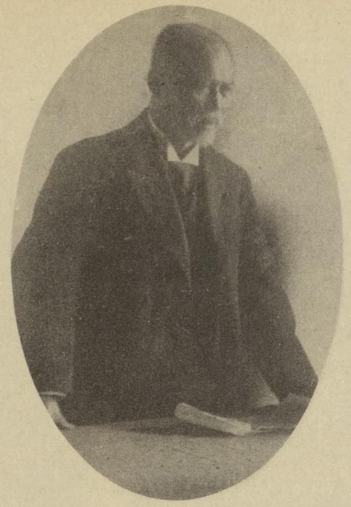
海中に流入せる熔岩（左）

大正三年一月十二日櫻島は突如大噴火を爲して噴煙の高さ實に二萬五千尺、熔岩は海中に流入して海水沸騰し熔岩の爲に櫻島と本島とは地續きとなつて航行不能となつた所もあつた
爆發につゞく地震及び積雪の如き大降灰の爲に島民は續々鹿兒島に避難した。地震學博士の大森房吉氏は是より先き霧島山鳴動によつて櫻島の爆發を豫報せんとして果さなかつたが
驅逐艦に乘じて櫻島を視察し斷案を公表して島民を安心せしめた。大正劈頭の大慘害であつた。

シーメンス事件

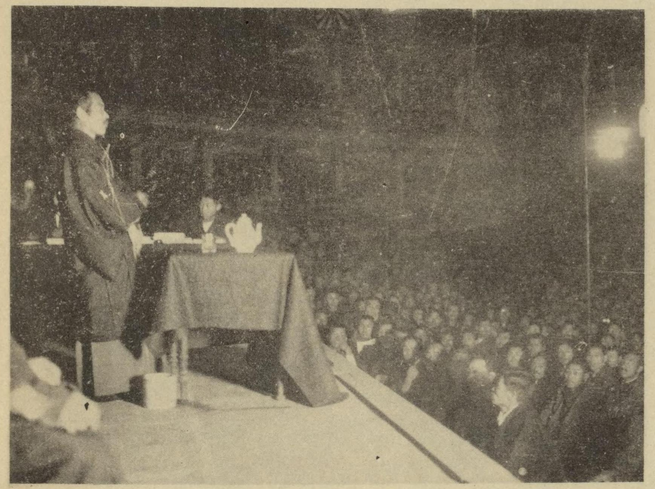
大正三年二月十日日比谷公園松本樓に開かれたる國民大會と島田三郎（圓内）

山本總理大臣



議會附近の群集制御の警官

元兇プーレー（上右）　藤井光五郎（上左）
澤崎寛猛（下右）　松本和（下左）



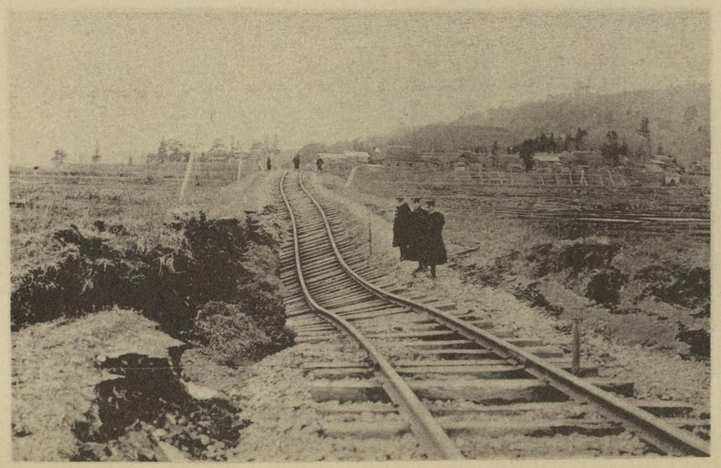
二月六日兩國々技館に於ける片桐豫備海軍主計大監の攻擊演說

二月三日神田青年會館に於ける豫備海軍大佐太田三次郎の攻擊演說

桂内閣の跡を受けて山本權兵衛内閣が成立し行政整理を遂げて一億二千萬圓を捻出して好評であつた所大正三年早々外國通信員アンドリユ・エム・プーレー及びシーメンス會社のカール・リヒテルが日本海軍註文に關する秘密書類を手に入れてシーメンス會社を脅迫せる問題がドイツに起り、それが日本に飛火して島田三郎氏が議會に於いて攻擊して秘密を暴露した爲に海軍中將松本和、少將藤井光五郎及び同大佐澤崎寛猛三人が收監され山本首相又軍艦金剛建造のコンミツシヨン四十萬圓を私したと云ふので政友會の總攻擊となり貴族院では村田保翁が辭表を叩きつけて攻擊し遂に山本内閣は瓦解した。

秋田縣下の大地震

上右、仙北郡強首村の慘狀
秋田縣下にて慘狀最も著しく一村全滅せり。
下右、仙北郡刈和野村の慘狀



下左、仙北郡刈和野附近鐵道線路破壞
上左、仙北郡神宮村の慘狀

櫻島の大爆發に續き大正三年三月十五日突如秋田縣下に大地震起り中にも仙北郡強首村は慘害甚しく爲に全村全滅の悲酸なる有樣であつた。縣下を通じて死者九十四名、負傷百八十六名、全潰家屋六百〇二戸、半潰二百八十四戸を算して櫻島と共に大正初年の二大慘害であつた。

大正博覽會（一）

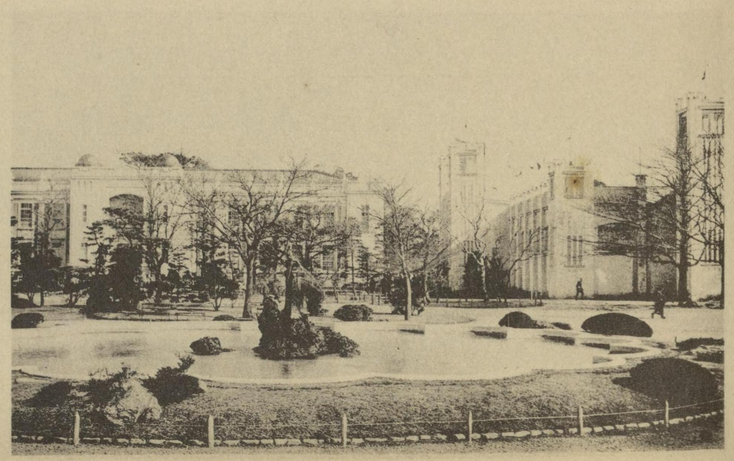
第一會場正門前の雜閙（上野竹の臺）
（大正三年三月二十日）

上圖、大正博覽會開會式總裁閑院宮殿下の御巡覽、御先導は宗像東京府知事

大正博覽會は大正三年三月二十日より同年七月三十一日迄上野公園に於いて開かれ三月二十日花々しく開會式を行つた。第一會場は上野竹の臺、第二會場は不忍池畔、第三會場は青山に設け總計費百三十一萬圓を要し明治三十六年の第五回内國博覽會以後の大博覽會であつた。出品總數三十三萬八千六十八點、出品人數六萬四千二百十三人で盛大を極めた。

大正博覽會（二）

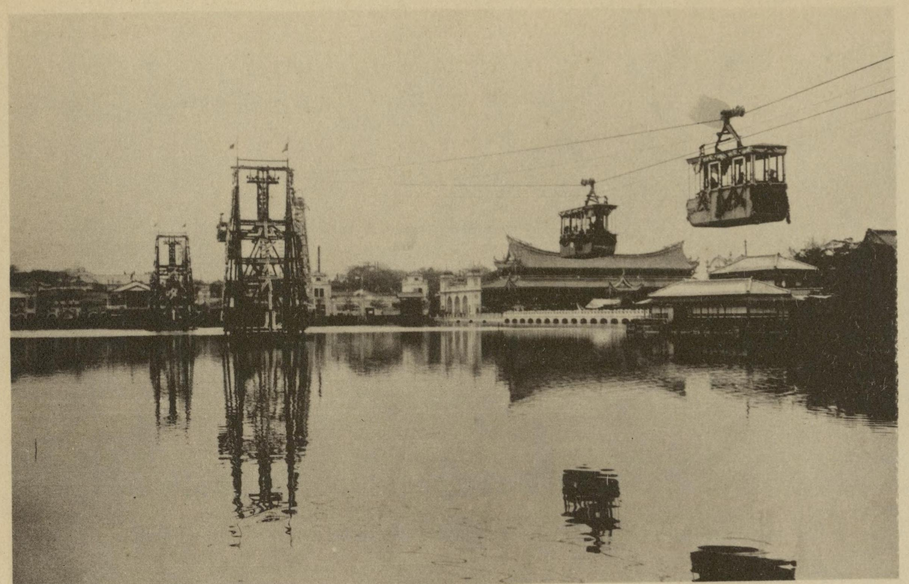
上右、不忍池畔第二會場の鳥瞰寫眞
下右、竹之鹽教育及び學藝館と水産館



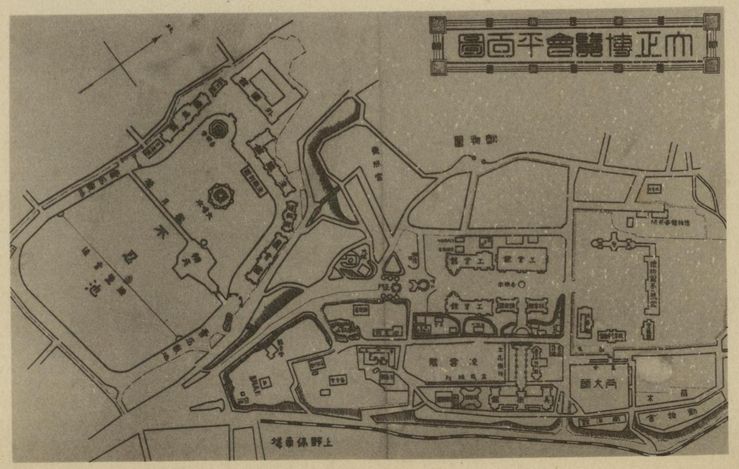
下左、皇后陛下の行啓
大正三年六月二十六日現皇太后陛下の御巡覽で先頭より、久保田會長、陛下、總裁閑院宮殿下、シルクハツトは末松審査部長。
上左、上野山下の博覽會入口

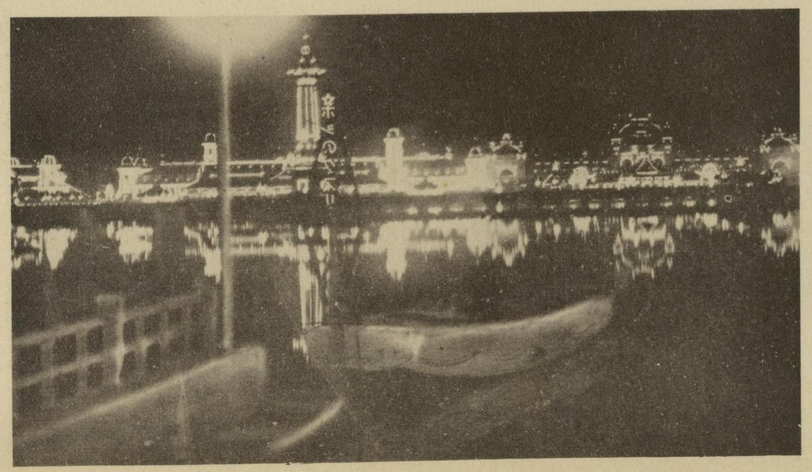
會期中大正天皇は六月十七日行幸ありて親しく各會場を御巡覽あり、又同月二十六日には皇后即ち現皇太后陛下は行啓あらせられ、久保田會長、閑院宮總裁の御案内で御巡覽になつた。上野山下の入口に立てる左右の智德塔には夜は瓦斯の篝火を點じ餘り燃料費が嵩むので時々消火する爲、口さがなき京童は是を『損得塔』等と惡口したものである。

大正博覽會（三）



上右、第三會場（青山）に於ける軍艦三笠の模型
下右、博覽會平面圖

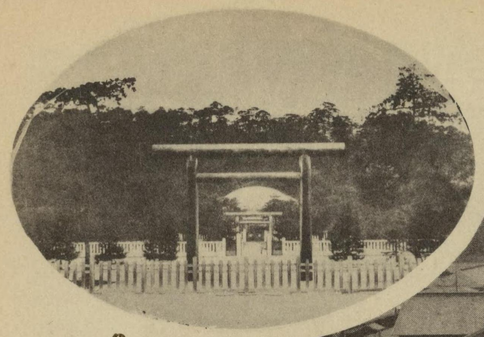




下左、第二會場の夜景
上左、不忍の池横斷の遊覽ケーブル・カー

博覽會開會中海軍飛行機は芝浦より飛行して景氣を添へ、第二會場ではケーブル・カーを架設して不忍の池を横斷して遊覽せしめ、青山なる第三會場の三笠艦の大模型内には海軍史料を陳列して觀覽せしめたが、其他種々の興行物があつて大に賑つた。

昭憲皇太后の崩御



伏見桃山東陵
（昭憲皇太后御陵）

代々木練兵場に於ける御大葬場全景

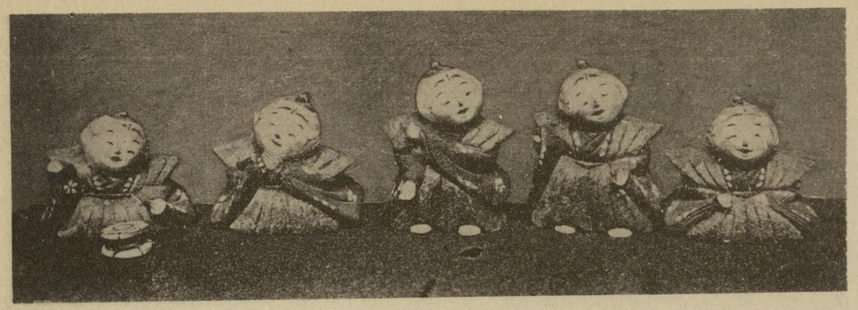
昭憲皇太后御寫眞

京都市民の奉悼
（五月廿四日東京赤坂宮益坂附近）

大正三年五月廿四日午後八時半御靈轜代々木葬場殿に
着御の有樣

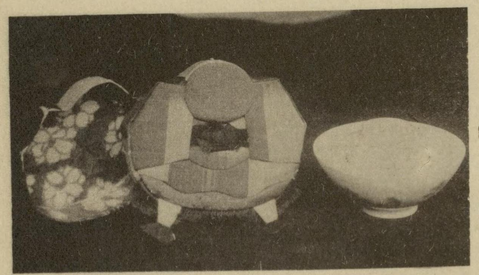
昭憲皇太后は大正三年三月二十六日狹心症の御惱御發作あり、上下大に驚いて御平癒を祈り奉つたが、越えて四月十一日遂に崩御あらせ給ふ。五月廿四日よりニ日間御大喪儀を行はせられ廿四日夜代々木葬場殿にて御葬儀あり翌廿五日午前二時御靈轜代々木を發輦して伏見桃山に向ひ、廿六日壯嚴なる御式の下に埋葬し奉る。御陵は明治天皇御陵に隣し『伏見桃山東陵』と御治定になりて又四月十一日をもつて昭憲皇太后祭日と定められた。

昭憲皇太后の御遺品

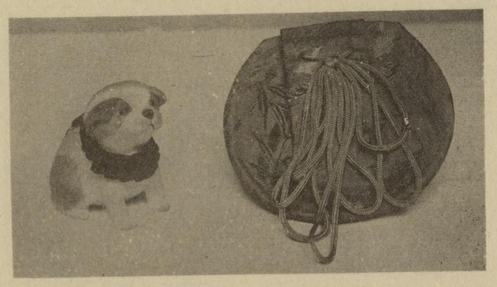


御愛玩の五人人形

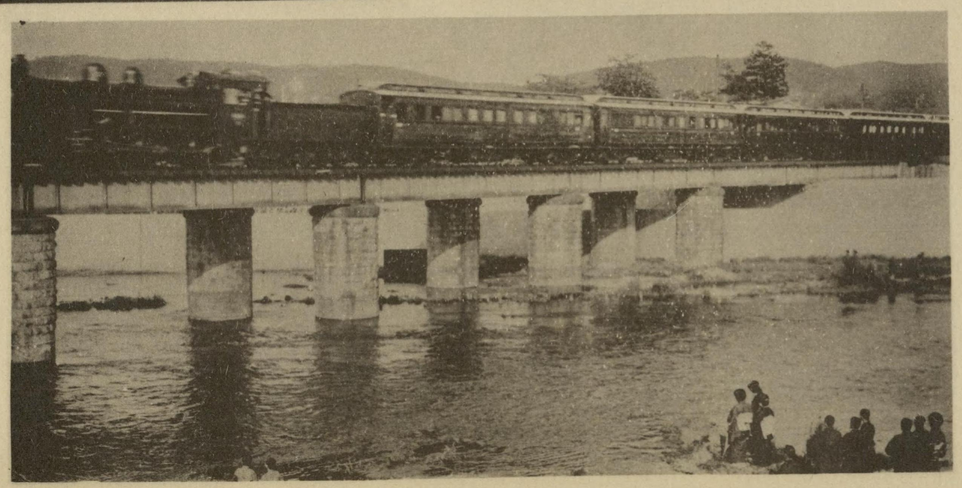
御愛玩の御人形



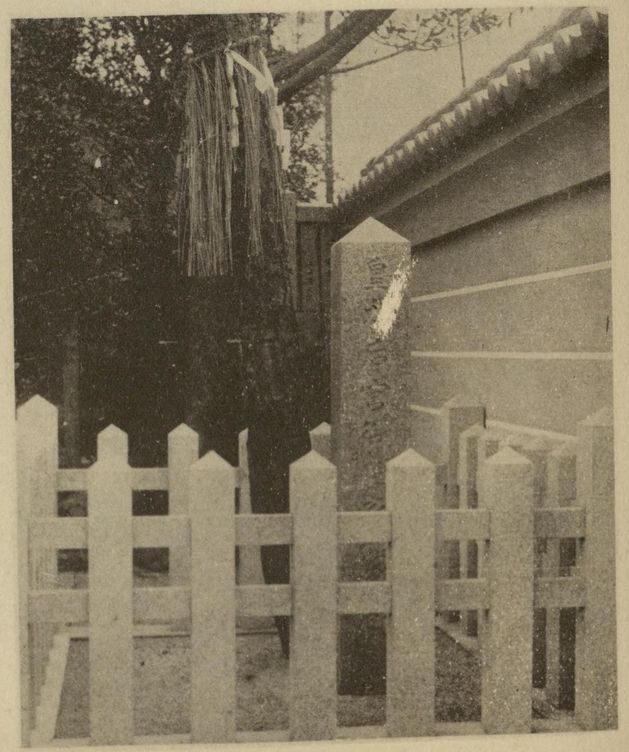
左、御茶碗と糸袋（福永ラク女藏）



左、御玩具、（新畑六郎氏藏）



御靈柩列車加茂川鐵橋通御と市民の奉送
（大正三年五月廿五日）



御胞衣塚（京都大道神社境内）

臺灣理蕃事業最後の討伐

大正三年七月合歡山ルツヒ合流點よりカラパオこ至る困難なる討伐隊の輸送

討伐隊と兇蠻との媾和（上）

臺灣討伐隊を苦しめたる新竹廳下蕃界頭目と德島警備所兵との媾和の盃を飲み干す所で兩者相抱いて一つ盃より飲みて和親のしるしと爲す有樣である。

歸順蕃人（左）

歸順したるセラオカフニ蕃人と我討伐隊員。

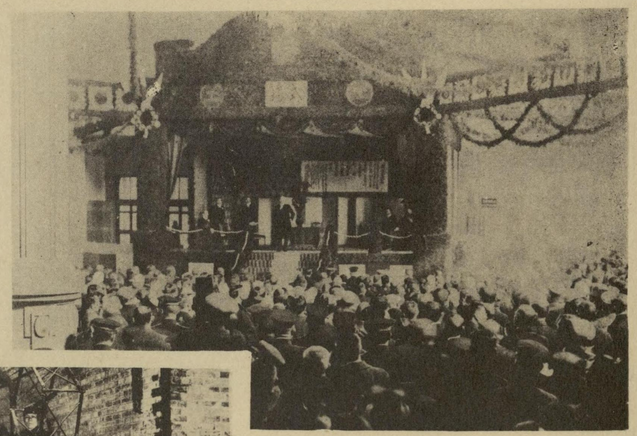
臺灣理蕃事業は五ヶ年繼續事業として開始し其最後の討伐は大正三年六月二十八日より開始され主として獰猛なる東部の太魯內蕃、外蕃を討伐して遂に臺灣全島の殘忍なる蕃人も我が王化に浴するに至つたので討伐隊は八月二十三日同隊全部の解散式を行つた。上掲の寫眞中上右のものは蕃社頭目と討伐隊員との媾和の盃を相抱いて飲みつゝある有樣であつて斯くして互に敵意なき事を示す和親の式である。

東京驛の開通式

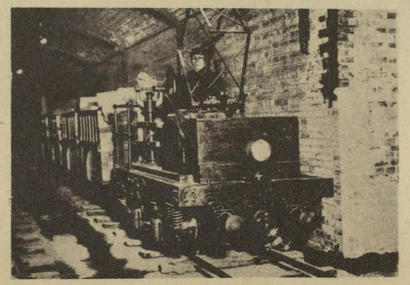
十一月竣工せる東京驛全景
長野工學博士設計
工費三百萬圓
大正三年十二月十八日開業式

下、開通式祝賀會
大正三年十二月十八日の東京驛前のアーチ。神尾青島攻圍軍司令官の凱旋と同日であつた。

右、
開通式々場内
大隈伯の祝賀演説



左、
東京驛及び東京中央
郵便局間の地下電車
東京中央郵便局は大正三年六月竣工し東京驛の竣工と共に開所間に地下電車を敷設して郵便物遞送に便にしたものである



東京驛は起工以來七ヶ年の歳月と三百萬圓の巨費と七十四萬人の職工を使用して竣工し大正三年十二月十八日開通式を擧げた。ルネツサンス式三階建、建坪三千六百五十坪、愉美の美を極め東洋一の大停車場である。設計家は工學博士長野金吾氏である。開通式の日は偶々神尾青島攻圍軍司令官の凱旋と同日なりしに鑑に驛の混雜は非常なものであつた。

日光東照宮三百年祭（一）

日光東照宮三百年祭德川家一門の參拜

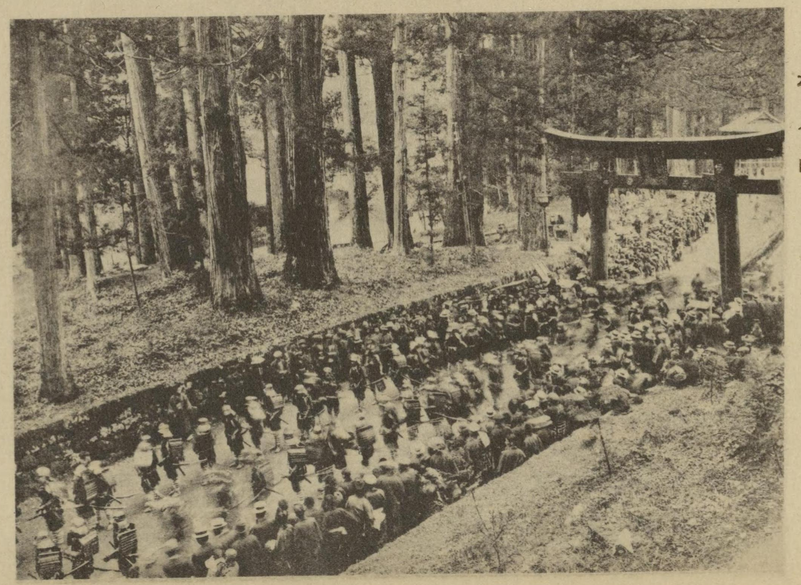
大正四年七月一日東照宮三百年祭に德川家達公以下一門十二名參拜、三神庫前通過の有樣

上、天狗獅子（七月四日）
下、田樂法師（七月四日）

日光東照宮三百年祭は大正四年七月一日より東照宮社殿に於いて最も壯嚴に催され德川家達公外十二名の一門の人々は衣冠束帶の禮裝にて參拜したが祭禮を三期に分ち第一期は六月一日を以つて始められたので各地でも盛大なる催があつた。七月四日日光名物の田樂法師、天狗獅子、東遊の舞等の催あり、日光の町々は湧き かへる樣な騷ぎであつた。

日光東照宮三百年祭（二）

上左、大名行列（東京）
露拂、金紋先箱、大鳥毛槍、黒毛、白毛の槍持の出發
下左、騎馬武士（東京）
芝增上寺に到着せる一行

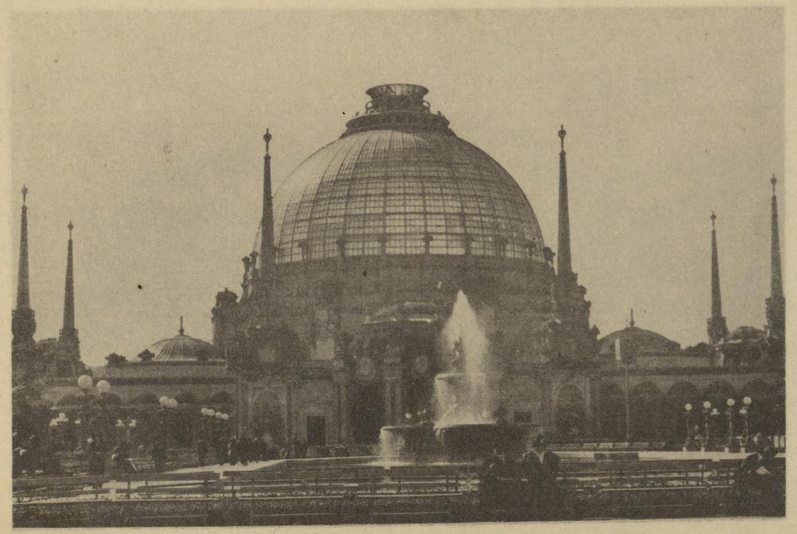


上右、大名駕籠
東京に於ける十萬石の大名行列
下右、武者行列
六月四日、日光杉並木通行

大正四年四月十七日東照宮三百年祭日に相當せる爲東京增上寺にても盛なる大法要を營み餘興として十萬石大名の大名行列を行ひ、第一回は四月十六日午前九時兩國回向院より增上寺へ。第二回は十七日新宿太宗寺より四谷見附を經て增上寺へ練り込んだが諒闇明けの都の春にふさわしき行列とて未曾有の雜閙を極めたのであつた。

桑港萬國大博覽會（一）

桑港大博覽會全景で左端は寶石塔と稱し高さ四百三十五呎の大塔である。右端の三棟並べるは機械館。其左の圓蓋の建物は美術館、其左即ち寶玉塔と中なるは日本部の館である。

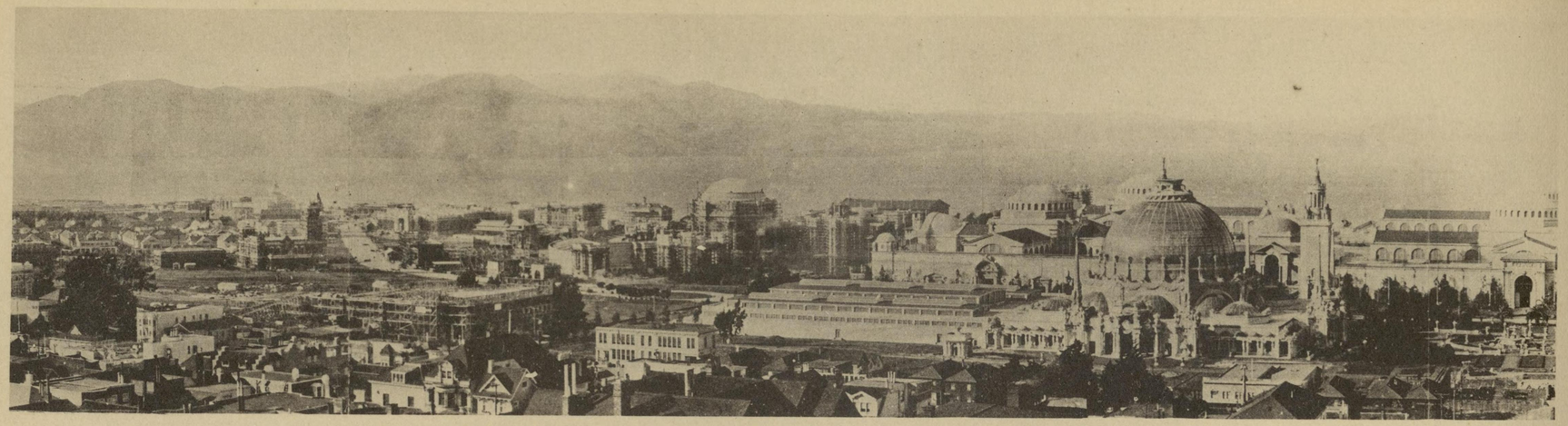


圖藝館の全景
高さ百六十六呎。會場の呼物たりしものである。

大博覽會の夜景

桑港萬國大博覽會は大正四年二月二十日開會したが其規模雄大で我國からも參加し出羽海軍大將日本を代表して艦隊を率ゐて開場式に參列したが各國の國旗も亦桑港金門灣頭に集合して開會を祝したり。會場の中央には壯麗な寶玉塔を建て左右に教育、高等文藝、製造、工業、產殖、農業、運輸、鑛山の各館、大宴會場、大圖藝場、機械館、美術館あり、盛大なる博覽會であつた。

桑港萬國大博覽會（二）

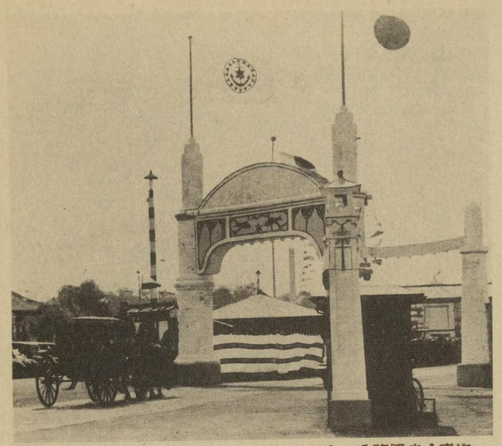


桑港萬國大博覽會の全景で、左より、教育館、高等文藝館、製造館、工業館、殖産館、農業館、運輸館、鑛山館、大宴會場、右前方の圓蓋は高さ百八十五呎の灰白色硝子製の大圓藝館である。

日本部出品の金閣寺と日本式庭園
五姓田芳柳氏藏

日本は此大博覽會に數多くの出品をしたが中にも金閣寺の模型と日本式庭園とは會場中の偉觀として好評を博したものである。而して石燈籠、鯉登り、鳥居、橋等日本氣分を横溢させるものは殆ど取り入れてあつた、此金閣寺の模型は會後、タカ・ヂアスターゼの發明者高峰讓吉氏が二十萬圓で買つて今同氏の邸宅になつて居る。

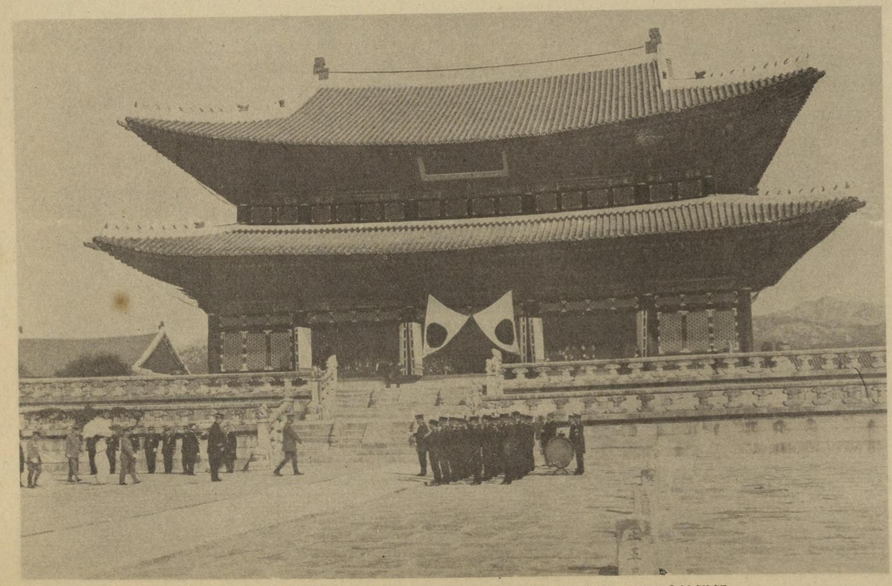
大正初年の博覽會と朝鮮物産共進會



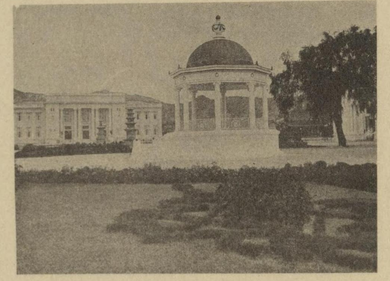
海事水産博覽會。大正五年三月二十日より五月二十三日迄
（上野）、寫眞、大正天皇の行幸

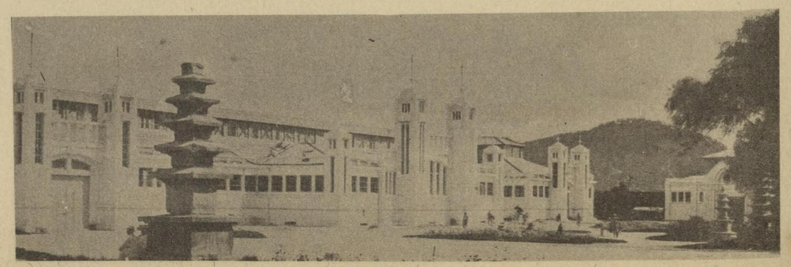
江戸記念博覽會。大正四年七月十日より十月十日迄（上野）。
東照宮三百年祭記念。

明治記念博覽會。大正二年六月二十五日より八月卅一日迄
開會（上野）明治大帝一代の記念。



朝鮮始政五周年記念朝鮮物産共進會開會式、景福宮勤政殿前に於ける
總裁閑院宮、同妃殿下（大正四年十月一日）





上右、共進會參考館、上左、音樂堂
下、第二號館

大正元年

（明治四十五年七月三十日以後を大正元年と改めらる）

大正最初の陸軍大演習

大正元年劈頭の歴史は、海に陸に燦然たる武威を以て彩られた。卽ち十一月十二日を以て海軍大演習觀艦式を東京灣に於て行はせられ、越えて同月十四日より四日間に亘り陸軍特別大演習を史蹟趣味豐かな武藏野を中心とする關東平野に於て擧行された。此時南軍の軍司令官は大島義昌大將、參謀長は由比光衞少將で、近衞師團長中將閑院宮殿下御參加あらせられ、第一師團木越安綱中將參加し北軍の軍司令官は大島久直大將、參謀長は小原傳少將で、第十三師團長長岡外史中將第十四師團長山田忠三郎中將參加した。天皇陛下には十五日演習地に行幸親しく御統監あらせられ、了つて十九日所澤飛行試驗場に於て觀兵式を擧行せられた。

陸軍大演習戰線及附近地圖

關東平野に於ける大正年間第一次の大演習戰圖

勤王家其他の贈位追陞

大正元年十一月武州川越を中心として行はれたる陸軍特別大演習を機として、川越地方の勤王家其他に對し同月十九日を以て左の如く位階追陞及び贈位された。

贈從三位舊川越藩主故從四位上松平齋典、贈從三位舊川越藩主故從四位下秋元喬知、贈從四位舊江戸町奉行故從五位下大岡忠相、贈正五位舊關東郡代職故從五位下伊奈忠次、贈從四位舊幕臣故川路聖謨、贈正五位埼玉縣大里郡八基村故桃井儀八、贈正五位埼玉縣北埼玉郡水深村故小川香魚、贈從五位埼玉縣飯能村故小川香魚、贈從五位埼玉縣川越町故西川練造、贈從五位埼玉縣大里郡大寄村故今井國之丞、贈從五位埼玉縣吉見村故根岸伴七、贈從五位埼玉縣兒玉郡丹庄村故鹽川廣平。

因に、以上の內、大岡忠相は江戸幕府の盛世期たりし吉宗將軍の享保時代に名判官として知られたる大岡越前守である。川路聖謨は幕末の重臣にて露國及米國使節と屢々折衝の要職に當つた。後志を得ずして明治元年自刃して死した。桃井儀八は幕末時代に勤王家を保護したる儒者。小田熊太郎は藤田小四郎の筑波山の擧に與みした勤王家。今井國之丞は武田耕雲齋と事を共にした志士。根岸伴七は勤王殖産に盡くせし素封家。鹽川廣平は維新の際國事に奔走し明治維新後敎部省司法省等に歷任し明治二十三年に歿した勤王家である。

大正劈頭の政變

曩に後藤新平男と共に外遊の途に上りたる公爵桂太郎は、外遊中端なくも明治天皇崩御の報に接して急遽歸朝と決心し七月二十八日露都を發して八月九日歸朝し、次で同十三日內大臣兼侍從長に任ぜられた。而して、當時の內閣は西園寺內閣であつたが大正二年度の豫算編成に就て多大の困難に遭遇し、且つ增師案の容れられざる結果として當時の上原陸相の辭職を見るに及んで內閣は延いて瓦解する運命に立ち至り、元年十二月五日西園寺首相は辭表を闕下に捧呈した。玆に於て翌六日宮中牡丹の間に於て元老會議は開かれ、山縣、大山、松方、井上の人々鳩首凝議したるも決せず、松方侯を首相後任に推薦したるも、侯は之を辭し、山本權兵衞伯を推したるも是れ亦辭して受けず、更に平田東助子を推せしも亦辭退し會議九回を重ねて決せず、口さがなき京童は此時より「元老會議」の諷語を作りて「元老の內閣持廻り」などゝ潛かに嘲笑するものあるに至つた。而して漸く十回目の元老會議に於て內大臣府より桂公を起たしめて、同公を推す事となつた。斯くて十二月十七日畏くも左の勅語を桂公に向つて降し賜つた。

朕登極ノ初ニ當リ卿カ多年ノ忠亮ニ倚信シ常侍輔弼ノ任ニ膺ラシム然ルニ今ヤ時局ニ鑑ミ更ニ卿ヲシテ輔國ノ重任ニ就カシメンコトヲ惟フ卿克ク朕カ意ヲ體シ嫓順匡救ノ誠ヲ盡セヨ

斯くて玆に第三次桂內閣は左の顚觸を以て同月二十一日完全に成立を見た。

內閣總理大臣兼外務大臣公爵桂太郎、海軍大臣男爵齋藤實、內務大臣子爵大浦兼武、遞信大臣男爵後藤新平、陸軍大臣男爵木越安綱
大藏大臣若槻禮次郎、農商務大臣仲小路廉、司法大臣松室致、文部大臣柴田家門。
因に海軍大臣は前內閣より續いて留任し、又外務大臣は首相兼攝したるも、當時駐英大使であつた加藤高明男が歸朝したので同二十九日代つて外相の椅子に就いたのであつた。

大正二年

憲政擁護運動、護憲の神

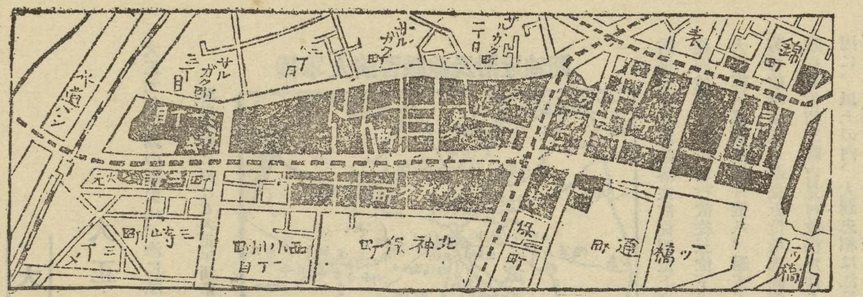
元年十二月に於ける政變は尙ほ二年に持越し辛ふじて桂内閣の組織を見たるも、政界は更に紛然雜然として安定するを得ず、民間各政黨は同内閣が官僚的なるに憤焉す、非官僚的感情は益々勃興し、政友會、國民黨、無所屬の有志代議士及新聞記者等聯合して築地精養軒に聯合大懇親會を開催し憲政擁護、閥族打破、政黨主義の發揮の三大標榜を翳して桂内閣打倒を叫び、玆に始めて憲政擁護會なるもの起り、二年一月より二月に亘りて同會は京都、大阪、神戸の各地に憲政擁護演説會を開催し輿論の喚起に力めた。斯て憲政擁護會は非常の勢を以て進展し、主として之が熱注に憲政の擁護を叫びたる國民黨總理犬養毅は護憲の神として崇仰さるゝに至つたのであつた。

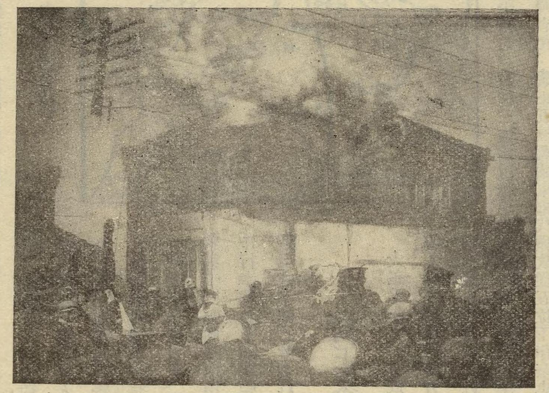
而かも一方、桂首相は當面政界の情勢に鑑みて一つの新政黨を組織し一月二十日新聞通信記者を芝區三田の自邸に招待して公然政黨組織を發表したので之に趨く黨人代議士なども尠からずあつた。又國民黨にては黨内に改革、非改革の兩派の暗流を生じ犬養一派は憲政擁護の運動を續け、大石正巳を中心とする一派は非政友聯合を主張し其結果終に大石正巳、河野廣中、箕浦勝人、島田三郎、武富時敏、片岡直温の六領袖は袖を連ねて同黨を脫するに至つた。

第二の燒打、桂内閣瓦解、山本内閣出現

斯くの如き紛糾裡に開會されたる第三十議會は二月五日桂首相の施政方針の演説終るや、果然政府不信任案は提出され、尾崎行雄の彈劾演説に次ぎ、島田三郎は辯駁演説を爲さんとする刹那突如五日間議會停會の勅命は下つた。玆に於て物論沸騰衆議院の門前は殺氣に充ち群衆は議院を包圍し、憲政擁護派の代議士等は院内樓上より群集に呼應し益々紛糾騒然の度を加へた。而して此の停會期間に於て時局を收拾すべく、首相、西園寺侯の會見となり結局政友會に於て不信任案は撤回の事に決したるも未だ發表せず、此際山本權兵衛伯は突如桂首相を訪ふて辭職を勸告するあり、而して議員總會に於ては滿場一致勅諚を奉戴せざることを決した。斯くて十日午後一時衆議員本會議開會の時刻に達するも開會に至らぬので、熱狂せる院外の群衆は議院の門前に叫喚し殺氣凄愴を極めた。斯くて此日また三日間停會の大命下つたのであつた。殺到せる數萬の群衆は益々叫び狂ひ夜に入るや豫て官僚派と目せられたる五六の新聞社に對して襲撃放火し、又は電車に投石し、交番を燒打した。翌十一日臨時閣議は開かれて桂首相は勅諚奉請の責めを負ふて辭職の決意を示したので玆に總辭職と決した。而して西園寺侯また勅諚違反の責を負ふて政友會總裁を辭した。斯くの如くにして桂内閣は歴代内閣の最短期ともいふべき五十餘日を以て玆に瓦解することゝなつた。翌十二日山本權兵衛伯は青山離宮に參内し天皇陛下に拜謁を仰付けられ後繼内閣組織に關する御下問に奉答した。爾來組閣に時日を費し二十日を以て左の如く山本權兵衛伯を首班とする内閣は出現した。

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛、司法大臣松田正久、内務大臣原敬、外務大臣男爵牧野伸顯、農商務大臣山本達雄、大藏大臣男爵高橋是清、文部大臣奥田義人、遞信大臣元田肇、海軍大臣(留任)男爵齋藤實、陸軍大臣(留任)男爵木越安綱





神田の大火

神田の大火

二月二十日午前一時半、神田區三崎町二丁目十番地救世軍大學殖民館裏手より突如火を發し、折柄北西の風烈しかりしを爲め猛火は見る〳〵四方に燃え擴がり、忽ちにして火焰の海と化し水道橋より一つ橋まで十三町の間を燃え拔くに至つた。而して其延燒區域中には大家巨屋等尠からずありたるが、東京外國語學校、旅館旭館、學士會、錦輝館、錦城商業學校、國民英學會、橋田病院、東明館、東京工科學校、順天中學、

佛英和女學校、錦華小學校、東京中學校、佛英和高等女學校、旅館森田館、天主公教會等は其主なるものであつた。斯くて燒失戸數は總計金燒二千三百七十五戸、半燒七十二戸であつた。

航空界最初の犧牲

春光麗らかに晴れ渡つた三月二十八日午前九時五十分、ブレリオ式單葉飛行機は翼を連ねて所澤を發して帝都の空に飛び來り、巧妙なる技術を示して青山練兵場に着陸し市民を感嘆せしめた。此日青山練兵場の周圍は近衛四聯隊の將卒垣を作りて犇々と詰めかけ、陸軍大學校側には來賓の貴衆兩院議員を始め岡陸軍次官、各將校列席し、一般觀衆は場の外圍に長蛇の如く群集した。斯てブレリオ式飛行機の操縱者木村中尉は參觀者に對して機の局部に亘りて詳細なる說明を爲し、午前十一時三十五分木村鈴四郎、德田金一郎兩中尉はブレリオ式飛行機に坐乘し所澤に向つて勇ましく歸航の途に就いた、然るに午前十一時五十九分頃、所澤飛行場東方半哩許なる下新井村大字牛沼の森林上約三百米突の高空を飛行中、方向を左に轉換する瞬間左方から強き突風に遭ひ緊張せる針金が切れ、右翼は飛んで落ち、同時に左翼のみの力になつたので、反對に逆に轉覆し、飛行機は眞逆樣にモーターは下を向きて一直線に三百米突の高空より僅か一分間にて墜落し座乘せる兩中尉は地上に落ち發動機の下敷となつて打伏せられ、其儘無慘なる卽死を遂げた。飛行場から此の墜落を見て居りたる石本大尉、滋野男、青木軍醫等直ちに自動車にて現場に駈け付け、飛行機を除いて見たるに木村中尉は眼球飛出し、頰の肉が剝奪され、前頭部を強か打たれて、口の中には機械の破片を呑み吐血して死し、左腕に纏ふた時計の針は正午十二時で停つてゐた。又德田中尉は木村中尉の胸に頭を突き付けて刺し違へたるが如く相抱きたる儘死んでゐたが、木村中尉は操縱し居りしと見へ、把手の破片を堅く握つて居た。屍體は檢視を濟ませて後、戶板に乘せて飛行場に持込み、將校集會所に此の二個の犧牲者を並べた。斯て其夜同所に於て通夜を爲した。二十九日午前十時木越陸軍大臣は青山離宮に參內し天皇陛下に拜謁仰付られ兩中尉が殉職當時の模樣を詳細奏上したるに陛下に於かせられては陸相に對し兩中尉の遭難に付き深き御同情遊ばさるゝとの有難き御詔を賜り聖恩の辱きに感激して拜辭した。斯て特別の思召を以て左の如く祭粢料を賜つた。

一金百五十圓木村中尉へ。一金百五十圓德田中尉へ。

越えて四月四日木村、德田兩中尉の靈柩は九段の階行社を出で青山齋場に於て盛なる葬儀が擧行された。實に是れ我國に於ける航空界最初の犧牲として永く國民の忘るゝ能はざる歷史的事象である。

米國加州の排日問題

大正二年四月上旬米國カリホルニア州々議會に提出されたる排日的諸法案は、加州上下兩院の第二議會を通過し、我日本に取つては事態頗る容易ならず、形勢甚だ不穩に傾きたるより、茲に我が朝野の議論を喚起するに至り、國論大に沸騰した。該排日法案の要綱は左の如きものである。

（一）一般外國人の不動產所有を禁止す但し現所有主及其妻子の手にある間は本法の適用を受けず。

（二）今後相續實買法律の結果により不動產を收得したる外國人は一ケ年間、其未成年者は成年に達したる後一ケ年間を限り之を所有することを得。

（三）本法に違反して不動產を所有するものは裁判の結果公賣に附す但し所有主が右一ケ年間に市民となり又は第一歸化證を得たる時は此限にあらず

（四）右訴訟提起は檢事の責任なるも若し檢事が其義務を盡さゞる時は市民之を爲すことを得。

（五）外國人に對する五ケ年以下に亘る農業園及都市不動產契約又は賃貸は無效とす。

（六）歸化權無き外國人を過半數の株主とする會社は外國人と見做す。

（以上下院の分）

（一）外國人は當分在住と否とに拘らず贈與賣買及其他の方法に依り土地及之に關する權利を取得し一ケ年限り又未成年者は成年に達したる後一ケ年限り之を所有することを得。

（二）外國人が株の過半數を所有する會社は何れの國の法律に依り成立するも當分の內に讓與賣買其他により土地及之に關する權利を取得し一ケ年限り之を所有することを得。

（三）外國人及前記の會社に對する借地及土地に關する權利に關係せる諸契約は三ケ年を限り更改契約することを得。

（四）本法の規定に違反して收得所有する土地は檢事の告訴に依り公賣に附せらる。

（五）外國人にして第一歸化證を有する者は本法の制裁を受けず。

（六）本法は加州憲法第一章第十七條に依り一八九五年十一月六日以前に所有せる外國人所有の土地に適用せず。

（七）本法の規定は條約に依り享有する外國人の權利を侵害せず。

（八）本法條項中憲法違反の爲無效を宣告せらるゝ事ありとも其他の條項は依然效力を失はず。

右法案の土地所有權問題に利害關係を有するものは主として日本人であり、該法案が純然たる排日案であるので、我が珍田駐米大使は四月四日非公式に米國政府に向つて抗議を爲し、國務卿ブライアン氏と二時間餘に亘る議論を閧はした。該法案が愈よ實施せらるゝ曉には、現に加州の土地所有權を有する我邦人の反別約二萬五千英町の權利を失ふの悲運に遭遇することゝなるので、極力該法案の非を痛論したのであつた。

（以上上院の分）

米國排日史（大正十三年四月十九日東京朝日）

◇……抑もから現在まで

一九〇〇年 桑港排日派市民大會、排日決議を通過す

一九〇一年 一月カリフォルニア州知事ゲージ氏排日敎書を州會に送る、州會日本移民制限の建議案を可決し之を中央議會に送附す、是れ加州州會第一の排日決議である

一九〇三年 市俄古に開催せる米國勞働組合大會日本人問題調査開始を決議す

一九〇五年 桑港に日韓人排斥協會成る

一九〇六年 十月桑港學務局、日本人學童の爲め隔離學校を設くるの決議をなし初めて日米間の公式交涉案件を發生す

一九〇七年 日本政府、學童排斥中止の交換條件として在布哇日本人の大陸渡航禁止に同意す、同年日本の移民自制を約せる紳士協約初めて成る米國議會九名より成る移民調査委員會を設く、此年日本人土地所有權禁止案始めてカリフォルニア州會の議に上る、下院通過後、大統領ローズヴェルト氏干涉之を阻止せしむ

一九〇九年 日本人土地所有權禁止案再びカリフォルニア州議會に現はる、ローズヴェルト氏再び之を阻止す

一九一一年 日本人土地所有權禁止案三度カリフォルニア州會に出づ、大統領タフト氏之を阻止す

一九一三年 四度び日本人土地所有權案禁止案カリフォルニア州會に現はる大統領ウイルソン氏干涉を試みたるも不成功に終り、同年五月十九日初めて日本人土地所有權禁止、借地權制限の法律成立す、之より先き四月我政府珍田大使をして米國政府に抗議せしむ

一九一五年 歸化不能外國人移民禁止條項を含む移民法案米國議會に出づ、バーネット法案とす、成立に至らず

一九一七年 歸化不能外國人移民禁止を含む法律案米國議會に現る、外交事情に鑑み削除せらる

一九二〇年 十一月カリフォルニア州再び一般人民投票に依る排日法律を通過す、邦人の借地權を全禁し日つその米國生子女の後見人たるを禁止す

一九二一年 三月ワシントン州會、日本人所有權禁止を目的とする外國人土地法を通過す

一九二二年 加州高等法院 邦人父母の米國生子女後見を禁せる州法の無效を宣告し、邦人大に欣ぶ

同年十一月米國大審院日本人の歸化權無き旨判決を下す

一九二三年 六月日本人の收穫分配契約に依る耕作を禁止する法律加州に於て成立す

同年十一月米國大審院加州及ワシントン州の排日土地法を有效と判決す

一九二三年 四月米國議會初めて日本人排斥を目的とする歸化不能外國移民禁止條項を含む移民法案を通過す

越へて四月九日ポテトー王として知られて居る在米日本人會々長牛島謹爾より澁澤榮一、中野武營兩人に宛て援助を乞ふ旨の飛電着するに及び民間有志者と東京商工會議所とは同一步調を取つて協議し、政府當局とも打合せた末、同月十二日築地精養軒に有志大會を開き共結果日米同志會成立を可決し「……米國々民の良心に訴へ其公議の力により當事者を反省せしめ以て公平適正の手段を執らん事を望む」との決議文を發表し、次で十八日對外硬の急先鋒たる太平洋會は對米同盟會を組織し「……帝國は非理無法に屈するものにあらず米國にして此際猛省する所無くんば帝國は帝國の名譽ある歷史を尊重して大和民族の精神を發揮するに躊躇せざる事を宣言す」との宣言書を發表した。而して其後我政府は第二第三と抗議を提出したるも問題は容易に解決を見ず、何れ該法律案の施行後實害の生ずるを待つて之を米國高等法院の裁決に仰ぐと共に更に日本は外交上米國政府との間に何等か本問題の根本的解決を試むるの已む無きに至つたのであつた。

民間飛行家最初の犧牲

木村德田の兩中尉が我國航空界最初の犧牲となりたるより、僅に一ケ月半を出でざる間に又も民間飛行家として知られた武石浩波は、民間飛行界最初の犧牲者たるの悲慘事を見るに至つた。五月四日大阪朝日新聞主催の都市聯絡飛行會に臨むべく民間飛行家武石浩波は同日午前十時二十分鳴尾を發して大阪市の空を飛び同四十分城東練兵場に降り、晝食の後更に午後零時二十分練兵場を出發して京都伏見なる深草第十六師團の練兵場に向け飛行し同五十分練兵場の上空に姿を顯はしたるが俄然二十間程の高さを垂直に墜落し、機は粉碎され、武石浩波は重傷を負ひ人事不省となり直に師團衞戍病院に擔ぎ込まれたが此時既に絶命して居た。機の墜落原因は風力强く、又方向の一定を缺きたる爲めであるとの事であつた。

因に、武石浩波は茨城縣那珂郡勝田村大字晴食の人、武石如洋の弟で、曩年米國加州サンチアゴのカーチス飛行學校に入りて飛行術及び其製作法を研究し、卒業後國際的飛行免狀を得た秀才飛行家であつて歸朝後は大に斯界に雄飛せんとするの希望を抱き居りたるに、此の悲慘事に遭遇したるは痛惜に耐へない。

阿部政務局長暗殺さる

九月六日外務省政務局長阿部守太郎は自邸の門外に於て刺客岡田滿なる一書生の爲めに暗殺された。事件の原因は當時の外交問題として國論の沸騰を見たる支那第二次革命戰に於ける張勳の邦人慘殺に關するものである。該第二次革命は大正二年三月以降支那南北兩派確執し南軍は岑春煊を大元帥に仰ぎ孫逸仙は討袁宣言書を發したるも北軍の袁世凱は段芝貴を第一軍司令官として九江に向はしめ憑國璋を第二軍として南京に向はしめ、而して懦悍無比の張勳を江北宣撫使に任じて討伐せしめた。南軍李烈鈞獨り江西に威を振ひしも

七月二十三日開始せる上海江南機器局戰に失敗して威信を失ひ、黃興以下孫文、岑春煊等の巨頭相次で海外に亡命し、河海鳴獨り留まりて南京を死守せるも九月一日遂に張勳の爲めに陷落された。此際張勳は虐殺を擅まゝにし、邦人また此慘に罹りたるより玆に問題は持上つたが、當時此の南京事件即ち張勳問題の解決を見ざるは主として我が外交方針の軟弱に因るものとして世論は囂々として叫ばれた。此際青年岡田滿は大に外務當局の軟弱を憤慨し九月六日の黃昏阿部政務局長自邸附近を彷徨し終に阿部局長を其の門外に於て刺殺し、岡田は其の場に於て割腹し、共犯者の宮本千代吉は捕縛され、同共犯の松本勝繁は外務省内に於て割腹自殺を遂げた。

倘張勳事件は、其後支那政府の正式謝罪によつて落着を見たのであつた。

滿蒙に於ける五鐵道敷設權獲得

曩に清朝滅亡以來、支那は列强をして速かに中華民國を承認せしめんと欲し、機會ある毎に之を要求したが烈强は何れも愼重の態度を採り、容易に承認を與へなかつた。其後袁世凱大總統の職に就くに及んで千九百十三年即ち大正二年に至り、日本を始め、墺地利、葡萄牙、和蘭、西班牙、獨逸、露西亞、伊太利、佛蘭西、瑞西、英吉利、丁抹の順序で次ぎ〳〵に承認した。是より先我國は滿蒙に於ける鐵道獲得の計畫を有し交涉を進めつゝありしも捗々しく調印を見るに至らず、或は大いに延期すべく觀測されたるが、我が山座公使は前記支那共和國承認と交換的に之れを獲得するの計畫を進めて、終に之れが成功を見るに至り、大正二年十月五日を以て調印を了したのであつた。獲得の五線は即ち

（一）四平街洮南府線　（二）長春洮南府線　（三）洮南熱河線　（四）開原海龍城線　（五）海龍城吉林線

の五線であつて、是等は皆借款の形式を採つたのであつた。

大正第一次の天長祝節

大正天皇の御降誕あらせられたる佳辰は八月三十一日にして、大正改元後は同日を以て天長節と定められたるも、二年七月十八日告示を以て天長節につき「自今八月三十一日は天長節祭のみを行はせられ、特に十月三十一日を天長節祝日と定め、宮中に於ける拜賀及び御宴會は同日に行はせらるべき旨」仰出され、又宮中拜賀並びに賀表捧呈は十月三十一日に於て爲さるべきことに御治定あつた。されば大正二年十月三十一日は即ち大正最初の天長節祝日である。此日午前八時天皇陛下には宮城御出門青山練兵場に行幸ありて觀兵式を行はせられた。當日は閑院宮載仁親王殿下は參列の諸兵を指揮せられ、陛下の御閱兵後、諸兵の分列式あり、陛下には龍顏麗はしく同十一時還幸鳳凰の間に於て、親王、王各殿下を始め大勳位、宮內大臣、國務大臣、親任官、宮內省、勅任官等の拜賀を受けさせられ、正午大元帥の御正裝にて豐明殿の御宴會場に出御、參列の各皇族方及臣僚並に外國使臣五百餘名に勅語並に酒饌を賜ひたるが、勅語に對し臣僚を代表して山本首相、本邦駐劄列國使臣を代表して佛國特命全權大使ゼラール奉答した。此日は諒闇明け後大正第一次の天長節祝日とて、上下官民とも等しく聖壽の萬歲を祝し奉るべき方法に就て腐心し、全國擧つて思ひ〳〵の工夫を凝らしたる設備又は催しなどありたるが、就中東京市にありては、馬場先門前に莊麗華美を極めたる大綵門を設け、又紅葉に菊の花と君が代の普譜を現はしたるものを始め、五臺の華麗なる花電車を晝夜運轉せしめた。又市立各小學校にては午前九時より盛大なる旗行列を行ひ、其校數百五十小學生無慮十六萬人に達し、外に在鄉軍人團其他諸團體の旗行列ありて、一時は東京全市中は日章旗の海と化したる觀があつた夜に入りては恒例によりて外務大臣官邸に於て盛大なる大夜會の催しがあり、之に參會せるものは各宮殿下を始め、外國使臣並に朝野の紳士淑女數千名に及んだ。又民間にては實業聯合組合の各團體によつて組織されたる提燈行列あり、其數四萬餘人、各團體思ひ〳〵の意匠に成れる扮裝にて三菱原より二重橋前に到り聖壽の萬歲を謹ぎ奉りたるに、恐れ多くも天皇陛下には侍從をして宮城內松並木の堤上より御燈を揭げてみを打ち振らさせ給ひ庶民の誠意に應へさせ給ふた。

天皇御服制の公布

大正二年十一月十五日皇室令第九號を以て天皇の御服制を公布せられた。同令に依れば天皇の御服は別に定められたるもの、外は、陸軍式及び海軍式とし、陸軍式御服には正裝、禮裝、通常禮裝、軍裝及び略裝の四種があり。御服の色合生地等は孰れも從前の通りであつて、唯だ附屬品の添加若しくは幾分の改飾を行はせられたものである。卽ち陸軍式は從前の御袖章金線七條を八條に、御肩章金屬製彫刻の龍章を菊の御紋章に、御正帽の金線九條を十條に、御飾帶の房二十本を二十一本に、御軍刀の櫻の御彫刻を菊の御紋章二個に、御刀帶の前の金具に日章ありしを菊の御紋章に改められ、又御外套の肩章三ツ星に更に菊の御紋章を加へられ、海軍式は御正裝御肩章の龍章を菊の御紋章並に銀色櫻花三個に改め、夏服の御肩章も右同樣となり、御外套御袖章は櫻花四個の上に、金色の御紋章一個を添加され、劍帶の前金具の櫻の華に桐花ありしを菊の御紋章に改められた。而して天皇陛下には同年十二月一日より、右の新制の御服を御着用あらせられ、一般親、勅任官、各官廳、各學校其他に下賜せらるゝ御寫眞の如きも、新御服を召させられて御撮影を下賜せらるゝことゝなつた。

近代劇協會の創興

帝國劇場創設されて女優養成所の起るに及び劇界は頗る面目を革め來り、是れと相前後して創作劇は勃興し、明治の末期より大正の初頭にかけて、文藝協會養成所、俳優養成所など起り、新劇團としては新社會劇團、新時代劇、土曜劇場、獨立劇場、自由劇場、藝術座、公衆劇場、舞臺協會、新劇社、無名會などの出現を見るに至つた。就中澄剌たる意氣を以て現はれたのは近代劇協會及び藝術座であつた。

近代劇協會は上山草人、同妻浦路、及び伊庭孝、衣川孔雀等に依て創立され、第一回は帝國劇場に於て『ファースト』を演じ又『マクベス』を演じて劇界から多大の注視を惹いたのであつた。又藝術座は島村抱月が彼の女優松井須磨子と共に文藝協會より分裂して獨立せるもので、全力を藝術座の爲めに傾けたのであつた。而して須磨子は其の得意藝としたトルストイの「復活」にカチューシアに扮して到る所の興行に多大の好評を博した。須磨子が復活劇中の場合に於て謠ふ『カチューシア』の唄は此の劇の呼び物であつて、一時滿都に大流行を爲した。此唄は島村抱月、相馬御風兩者の合作詞で、中山晋平の曲に係る五齣より成るものである。唄の全詞は左の如くである。

カチューシア可愛や別れのつらさ、せめて淡雪解けぬ間と、神に願ひをララかけませうか。
カチューシア可愛や別れのつらさ、今宵一夜を降る雪の、明日は野山のララ道かくせ。
カチューシア可愛や別れのつらさ、せめて又逢ふそれまでは、同じ姿でララ居てたもれ。
カチューシア可愛や別れのつらさ、廣い野原をとぼ〳〵と、獨り出て行くララ明日の旅。
カチューシア可愛や別れのつらさ、つらい涙の別れの際に、風は野を吹くララ日は暮れる。

立憲同志會の結黨式

曩に公爵桂太郎は西園寺内閣崩壞の後を承けて大正二年一月第三次桂内閣を組織したが、國民の攻撃を受けて内閣瓦解の已むなきに至り　首相就任後僅に一月有半にて總辭職を爲し、爾來新政黨に努力を傾けつゝあつたが四月端なくも病を得、新政黨の結黨式を擧ぐるに至らずして同年十月十日終に六十七歳を以て薨去したのであつた。其後同政黨は立憲同志會と稱し、男爵加藤高明を總理に推し、子爵大浦兼武、大石正巳、河野廣中の三人を總務とし同年十二月二十三日築地精養軒に於て其の結黨式を擧行し左の宣言書を發表した。

吾人立憲の本旨及び黨議の綱領は、既に本年二月を以て之を天下に宣明せり、今や創立の準備漸く整ひ、本會の組織を完成し、玆に結黨の式を擧ぐ。

吾人は今後愈よ結束を固うし歩武を齊へ立憲の本旨に遵由して本會の主張を政治の上に貫徹せむことを期す。

惟ふに吾人の主張は當今の急務にして、而して百年の長計たり、特に現今内外の情勢に鑑み吾人の信念倍々深し、冀くは海内明識の士翕然として來て力を本會に戮せられむことを。

大正三年

注意　大正年間に於ける著大事件たる世界大戰は其端緒を大正三年六月に發したれば、本項に於て記述すべきが當然なるも讀者の便と本史編纂の體裁とを考慮し、特に是れを別輯に繰延る事とした。即ち別輯は全輯を擧げて世界大戰事項を以て始終し、隨つて日獨戰役及び南洋、地中海遠征等も別輯に之を收む。

櫻島の大爆發

大正三年一月十二日午前三時より同十一日に亘りて鹿兒島地方一帶に大小三百回餘の地震を感じたるが同日午前九時半に至り俄然迅雷の如き大音響と共に一大鳴動したる刹那、錦江灣上の櫻島は其の中腹より爆發し、濛々たる黒煙は天を蔽ひ見る〳〵櫻島全部を包圍し、大小無數の熔岩を數十丈の高さに噴き上げ、盛んに砂灰を降らし凄絶を極め、時の經過するに隨ひ其威力益々猛烈を加へ島内所々に噴火口を生じ、其數八ケ村に及び午前十一時に至り、噴火は西櫻島の民家に移りて火災を起し悉く燼滅し、櫻島全村三千餘戸の避難島民は皆海岸に群がり來りて双手を擧げて救ひを求めた。鹿兒島警察署にては此の椿事を知るや直ちに警鐘を亂打し全市の消防吏を召集し數十隻の船舶を出して救助に盡力し。又海軍省にては佐世保鎭守府をして軍艦磐手、八雲、常磐、筑摩、利根、驅逐艦夕霧、夕立、白露、三日月及び四水雷艇を急派して避難民の救助、傷病者の治療看護及び物資の補給に盡力せしめ、歩兵第四十四聯隊出部出動警戒救助の任に從事した。越へて十五日に至り漸く鎭靜に歸し、諸般の機關も舊に復するを得、附近一帶の人民も安堵するに至つた。

此の災害に依り全滅したる村落の破壞燒失戸數は約千七百戸、即死十、負傷十九、其他の損害は擧げて數へる事が出來なかつた。

尙此の爆發の爲め、鹿兒島市外天神ヶ迫にては十五日强き地震あり、折柄同地の狹き崖路を通行中の避難民三百餘名は道路崩壞せる爲め悉く、生埋めとなり、翌十六日に至り漸く百餘名を掘り出したる悲慘事を現出したのであつた。

地震學の泰斗たる大森理學博士の當時の視察せる談によると、此の櫻島の爆發は地震の程度が大きく、世界的大噴火であつて、其の熔岩の流出、降灰の程度から言つても、彼の天明三年に起れる淺間の大噴火に優るとも劣らぬのであるとの事であつた。

大正博覽會開かる

大正の聖世を祝福し奉ると共に、產業の發達を鼓吹せんが爲め前年度に於て計畫されたる大正博覽會は總ての準備全く成りて三年三月二十日より同年七月三十一日まで上野公園に於て開くことゝなり、三月二十日華々しく開會式を擧行した。曩に東京府にては明治天皇御卽位五十年を記念として大規模の日本大博覽會を開設せんとする豫定なりしも、明治天皇御登遐の爲め中止を見るに至りたるが、更に大正三年になつて規模、計畫に多大の變更を見、結局總額百三十一萬餘圓の豫算を計上し、會場を上野公園竹の臺を中心とし、面積十萬坪に及び、別に第二會場を不忍池畔に、第三會場を靑山に設置した。而して博覽會總裁には閑院宮殿下を奉戴し、會長は宗像東京府知事、事務局長に平田內務部長、總務課長に久保理事官、庶務課長に舟橋理事官、以下夫々就任し、又博覽會を翼贊後援として協贊會は設けられ、坂谷市長を會長に、中野商業會議所會頭を副會長に擧げた。而して博覽會の總出品點數は三十三萬八千六十八點に達し、出品人員は六萬四千二百十三人に及び空前の盛況を示した。尙會期中の六月十七日には畏くも天皇陛下行幸あらせられ、越へて同月二十六日には皇后陛下行啓あらせられた。

シーメンス事件

議會に於ける絕對多數黨たる政友會と相抱擁して成立せる山本權兵衛內閣は、順調の經過を辿りて第三十一議會に漕ぎ付けたるが、議會開會中の一月二十三日衆議院豫算委員會總會の席上、突如として海軍の腐敗は島田三郎に依て痛論せられ山本首相等をして愕然として顏色なからしめし事件が出現した。右は三年一月二十二日都下有數の新聞にリヒテル事件の伯林電報が現はれたるに起因し、翌日島田三郎は右電報所載の時事新報を携へて猛烈に痛論し、次で此事件に關して議會々期中質問續出し、島田、尾崎、藏原、菊池、小河各議員の質問は最も辛辣を極めた。是に對して山本首相は同三十日の本會議に於て、獨逸シーメンス會社よりの電報ありたりとて會社が日本士官に賄賂を贈りたること一切無き旨、及びヘルマンより弊商會は日本海軍々人に對し決して賄賂若くはコンミツシヨンの提供又は支拂を爲したること無しとの書面を朗讀して嫌疑を解くに努めたるにも拘らず、事件査問の進行に伴ひ、藤井機關少將、澤崎大佐等の收檻を見るに至つたので、輿論はます〳〵沸騰し、疑雲は山本首相のみに止まらず最高海軍武官の上を蔽ふに至り、二月二十一日小河代議士は犯罪の有無如何に拘らず苟も政治家の責任として、自己に疑雲の存する以上、陛下に對し奉りて引責すべきものなるべきを說きたるに對し、山本首相は斯る世上の言議に因り輕々しく進退を決すべきにあらずと答へた。又代議士藏原惟郭は激論して議長の命令に服せざりし爲め二週間出席停止の懲罰に處せられた。而して本事件は二月十四日貴族院の議事に上程され議員村田保は慨然として此の海軍不正問題に關して一矢を放ち、次で田男、曾我子等亦熱烈なる問責質問を爲した。結局四月七日に至り山本內閣は右シーメンス事件の爲め辭職するに至つたのであつた。

因に、山本內閣は總辭職を爲したので、同日後繼內閣は子爵清浦奎吾に大命降下したるも、海軍大臣の後任者を得る能はざる爲め清浦奎吾は組閣の大命を拜辭した。依て更に四月十六日伯爵大隈重信に組閣の大命が下つたので、同日大隈重信は左の顏觸を以て內閣を組織した。

內閣總理大臣兼內務大臣伯爵大隈重信、農商務大臣子爵大浦兼武、外務大臣男爵加藤高明、陸軍大臣陸軍中將岡市之助、海軍大臣海軍中將八代六郎、大藏大臣若槻禮次郎、文部大臣法學博士一木喜德郎、司法大臣尾崎行雄、遞信大臣武富時敏

昭憲皇太后崩御

昭憲皇太后陛下には豫てより御避寒を兼ねさせられ沼津御用邸に御靜養中であつたが、三月二十六日突然心臟狹窄症に罹らせられた由、翌二十七日宮內省より御容態書が發表されたので、國民上下の驚愕は一方ならず、天皇、皇后兩陛下の御心痛あらせられたることは申すも畏し、各皇族方を始め大臣、元老、高官、貴顯等何れも御用邸に參集、御見舞申上げ、或は參內して天機を奉伺し、一般庶民は何れも御惱の一日も速に御輕快に赴かせ給はらんことを禱り奉つたのであつた。是より先、靑山、三浦兩博士は兩陛下の御旨を奉じ急遽御用邸に伺候拜診申し上げたるが、御容態は三十日御順調、三十一日御宜しく四月一日御安眠遊ばし御食氣も進ませられたが再び御呼吸御不整となり二日御食氣なく、四日御精神御安靜なるも腎臟炎より來れる尿毒症にて尿毒血管を侵し狹心症を併發せらるゝに至れるものと診定あり、其後又御輕重ありて國民は擧つて御容態の發表を待ちたるに、八日殊の外御宜しとの發表に上下均しく喜びた

るも束の間にて翌九日午前一時俄然激烈なる狹心症御再發遊ばされ、二時十分御危篤に陷らせられ、東京に還啓の旨仰出され、天皇皇

昭憲皇太后御歌（御寫眞）

節制

花の春紅葉の秋の盃もほど〳〵にこそ酌まほしけれ

清潔

白妙の衣の塵は拂へども憂は心のくもりなりけり

勤勞

磨かずは玉の光は出でざらん人の心もかくこそあるらし

昭憲十二

沈默

過たるは及ばざりけり假初の言葉も仇に散さざらなむ

確志

人心かからましかば白玉のまたまは火にも燒れざりけり

誠實

とり〴〵に造るかざしの花もあれど匂ふ心の麗しき哉

太德

溫和

后の

みたるべき折をばおきて花櫻まづ笑ほどを習ひてしかな

謙遜

御歌

高山の影を寫して行く水の低きにつくを心ともがな

順序

奥深き道も究めむ物毎に本末をだに違へざりせば

節儉

呉竹の程よき節を違へずば裏葉の露もみだれざらまし

寧靜

いかさまに身は碎くともむらぎもの心はゆたに有べかりけり

公義

國民を救はむ道も近きより押及ばさん遠き境に

后兩陛下は御同列にて沼津に行幸啓あらせられ、皇太后陛下に最後の御對顏ありて直ちに還幸啓あらせ給ひ、皇太后陛下には十日の夜七時三十五分御重態の儘御用邸御出門、午後十一時三十五分新橋驛御着、赤阪御所に御還啓、十一日午後二時十分終に崩御あらせられた。實算六十五。

崩御の翌十二日より十四日に至る三日間廢朝仰せ出され、同時に大正天皇の御卽位の禮及び大嘗祭の御儀は延期せらるゝ旨告示あり次で五月二十四日より同二十六日に至る三日間に御大葬儀を行はせらるゝ旨發表あり、同日三日間廢朝仰出された。斯て五月二十四日午後六時より青山葬場殿に於て御大葬の御儀を行はせられ、了つて靈柩は青山を發せられ二十五日午後五時半桃山に御着の上、明治天皇御陵の東隣なる、伏見桃山東陵（京都府紀伊郡堀内字古城山）に御斂葬申し上げた。

臺灣理蕃事業の終了

臺灣に於ける理蕃事業、卽ち同島蕃族の討伐計劃は、五箇年に亘る繼續事業であつて、大正三年は其の最後の年度に屬するを以て、臺灣總督府にては、未だ王化に歸服しない生蕃中の最も獰猛を極むる太魯閣蕃を、一擧に征服掃蕩する計劃を樹て、同年五月以降大いに活動の歩を進めたのであつた。元來太魯閣蕃といふのは、臺灣の中央山脈と花蓮港との間、十餘里四方の地に割據し、其の人數は約一萬あり、殊に其の地は峻嶮峨々たる山地であつて、其處には合歡山、畢祿山、奇來山などと云ふ何れも一萬數千尺の高峯が相連亘し居る故、是等蕃社の討伐作業は實に容易ならざる大難事業である。而して之れが討伐隊は軍隊及び警察官の聯合軍であつて約一萬二千人である。卽ち軍隊は臺北第一聯隊の第一大隊及び第三大隊、臺南第二聯隊の第一、第二、第三大隊、基隆臼砲隊、山砲兵中隊、電話電信作業、衞生諸隊が之れに參加し、南投廳管內捕里社に集中、中央山脈を越え、背後より太魯閣蕃の根據を衝く計畫にて、佐久間總督之が軍司令官である。又警察隊の方は全部花蓮港方面に集中し、太魯閣蕃の正面より行動を開始する事とし、龜山警視總長之が總指揮官となり、兩隊相呼應して前後より挾擊するの策戰であつて、爾來數度の大風雨を冒し險難を排し、頑强なる太魯閣蕃の討伐に成功し、其一部は南澳方面に遁れ去りたるも、更に追擊の末北方面は我が討伐軍の威風に憚伏し、兵器を提供して歸順の意を表したので、爰に討伐事業は全く完成を告げ、同年八月初旬を以て討伐隊を解散したのである。而して此の理蕃作業中に於て大高、太田の兩中尉が戰死したるは痛惜に耐えなかつた。

◎第十七輯豫告◎

口繪

◎『御卽位式・鳳輦東京御發輦』
◎『御卽位式に御參列の各皇族殿下』

玻璃版

◎主基齋田の御田植式……
◎悠基齋田の御田植式……
◎齋田の刈入れと御用品調製……
◎大正天皇御卽位式（一）……
◎大正天皇御卽位式（二）……
◎大正天皇御卽位式（三）……
◎大正天皇御卽位式（四）……
◎御卽位式御調度品……
◎大禮特別大觀兵式……
◎大禮特別大觀艦式……
◎米國曲乘飛行家アート・スミスの來朝……
◎來朝せる外人飛行家と民間飛行界……
◎李王殿下の御來朝……
◎裕仁親王の立太子禮……
◎奠都五十年祭……
◎奠都五十年奉祝博覽會……
◎第三回極東オリンピック大會（一）……
◎第三回極東オリンピック大會（二）……
◎コンノート殿下の御來朝……
◎米騷動（一）京阪神に於ける暴動……
◎米騷動（二）東京市の恩賜デー……
◎名士のおもかげ……
◎醫學界の名士と女流教育家……
◎大正初年の相撲界……
◎宮城前の觀兵式・大隈侯の文士招待……
◎歌劇の全盛時代……

記事

大正三年東京驛の開通より同四年大正天皇御卽位式の一切を精細に記錄して餘蘊なく、次いで瀆職事件と內閣改造、大正五年の露國大使ミハイロウヰツチ殿下の御來朝、大隈首相襲擊事件より、立太子禮及び大正六年皇后宮の奈良高師に御歌御下賜、孝明天皇五十年御式年祭、內閣不信任案の提出と衆議院の解散、軍艦筑波の爆沈、極東選手權大會より日米共同宣言に至る迄を輯錄す

◎本第十六輯より愈よ大正期に入るのであるが大正の初期は實に多種なる事件の勃發した時であつた。大正二年には所謂憲政擁護運動となつて、宮中を出でゝ野に下り政黨を組織した桂公を排し政黨主義發揮が叫ばれ、憲政擁護を絕叫した國民黨總理犬養毅及び尾崎行雄兩氏は實に護憲の神として崇敬され、蓋し兩氏の得意と人氣との絕頂にあつた。而して議會解散、燒打ち等、騷然たる世情の裡に山本權兵衞內閣が成立し、山本伯は財政整理に一億二千萬圓を捻出して好評を得て其手腕を謳はれたのであつたが、後にシーメンス事件にひつかゝつて倒れたし、航空界の最初の犧牲者として木村、德田兩中尉が慘死を遂げたのも二年の三月二十八日であつた。次いで米國で加州に排日問題が起り、是が遂に大正十三年の國辱的排日法案と迄進展して來たのである。民間飛行家の武石浩波が都市連絡飛行中に慘死をして民間最初の犧牲者となつたが、斯うした人々の尊い犧牲が今日の我國の優秀なる飛行術及び其製造技術となつて實を結んで居るのである。當時の飛行機は、ブレリオ式と言ひ又カーチス式と言ひ當時にあつては新式なものではあつたが、少し風が吹けば飛行中止となるので實に貧弱極まるものであつた。爾後餘り頻々として墜落するので、日本人の能力を悲觀した人々もあつたが發動機の急速なる發達が飛行機の安全性を增加して來たのである。

◎松井須磨子（本名小林正子）のカチユーシヤの唄が全國的に流行したのも大正二年であつた。信州の片田舍から出て來た正子が、非常な勉强と努力及び豐滿なる肉體とを以つて東京に現はれ一躍新女優として斯界に君臨した

昭和十年二月廿日印刷納本
昭和十年二月廿五日發行
昭和十一年八月卅一日四版發行

『幕末明治大正』回顧八十年史　第十六輯

定價　金壹圓貳拾錢（朝鮮、滿洲、小笠原、樺太、臺灣及海外は送料別）

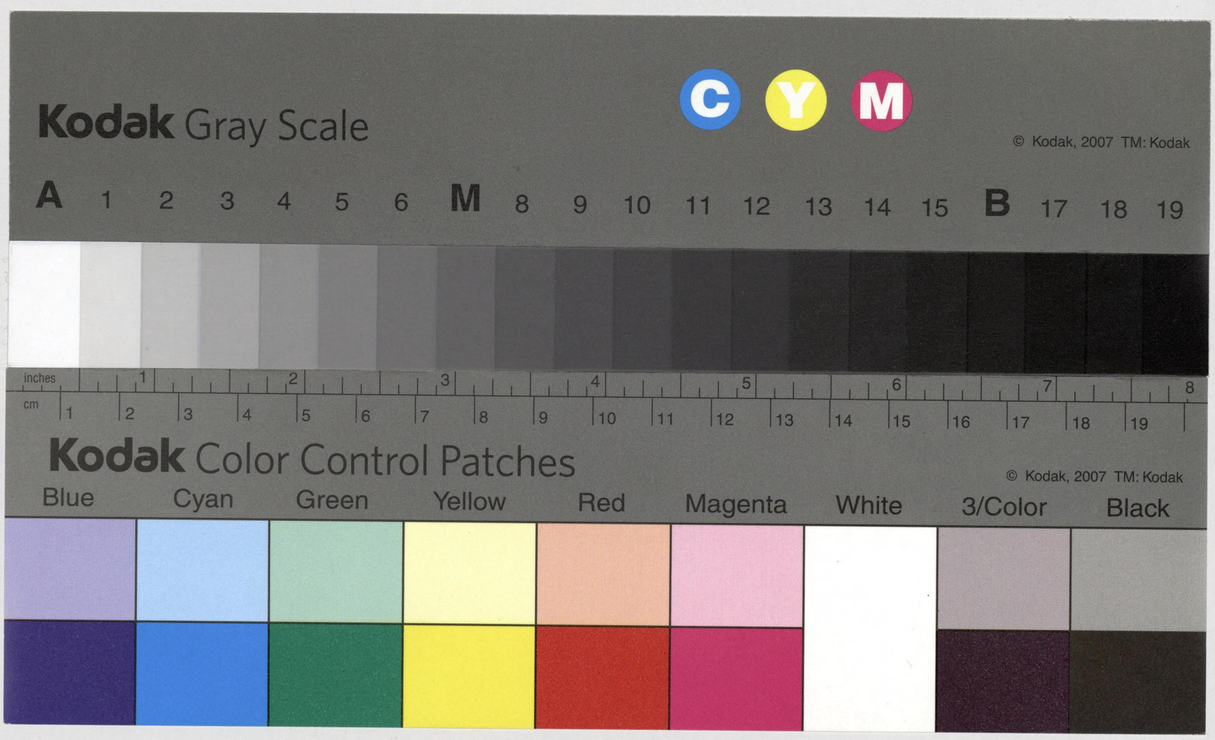
編輯兼發行者　東京市京橋區銀座五丁目四番地　大澤米造
印刷所　東京市神田區須田町二丁目十九番地　東洋文化協會印刷所
印刷者　東京市神田區須田町二丁目十九番地　早川一郎
印刷所　東京市小石川區西江戸川町十番地　井口印刷合名會社

發行所　東京市京橋區銀座五丁目四番地　東洋文化協會
電話銀座(57)〇四〇七番　振替口座東京三八三四八番

取扱所

大阪市北區堂島上三丁目三番地　萬伸社
關西一手販賣元　電話北二一八二一九番　振替大阪三九八番
大阪市住吉區阿倍野筋五ノ六五　東洋文化協會關西支部
神戸市楠町二丁目二ノ一　博文社
電話元町一八三五番　振替大阪二七六二三番
小倉市京町七丁目一一六番地　太湖社
電話一〇三六番　振替福岡一六八三三番
大連市西公園町八九　東洋文化協會滿洲支社
電話六三四九番　振替大連二六八八番
京城北米倉町九四　大正通信社
電本局二七〇二番　振替京城七三四五番

不許複寫複製轉載


Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
Inches
cm
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black